TalkMaster Slim

取扱説明書 応用編

このたびはトークマスタースリムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は「トークマスタースリム取扱説明書 応用編」です。
本機をはじめてお使いになる方は
基本編 をご覧ください。

本書は、トークマスタースリムをお使いになる方がいつでも読むことができるところに大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

本書に使用している記号について

本書では、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示を使用しています。この表示の内容を無視して取り扱いを誤った場合生じる可能性のある内容を以下のように表記しています。

以下の内容をよく確認した上で、本文をお読みください。

 警　告　使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。

 使用者が傷害を負う可能性、または物的損害のみの発生が想定されることを示しています。

絵表示の意味

 記号は、注意すべき内容を示しています。

 記号は、してはいけない内容を示しています。

 記号は、しなければならない内容を示しています。

本機の取り扱いについて

 警　告

	本機を他社製のACアダプタや充電器で充電しないでください。電池パックが発火するおそれがあります。
	本機は一般オフィスや家庭の OA 機器、またはホビー用途の製品として設計されています。幹線通信機器や、業務の中心となるコンピュータシステム、人命に直接関わる医療機器など、高い信頼性および安全性が必要とされる機器には、接続しないでください。
	本機を分解して内部の部品に触れないでください。感電、故障の原因となります。この場合は保証期間であっても保証範囲外となりますのでご注意ください。
	端子部を手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。感電、故障の原因となります。
	本機を濡らさないでください。水などの液体がかかると、発熱、感電、故障の原因となります。
	内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
	雨、ちり、ほこりの多いところで使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

風呂場など水が直接かかる場所や高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温な場所で使用／放置しないでください。発熱、変形、故障の原因となります。

発熱する器具の近くでの使用は避けてください。
発熱、変形、故障の原因となります。

AC アダプタや本体を、布団や衣類などがかぶった状態で使用しないでください。放熱が妨げられ、ケースの変形、火災の原因となります。

静電気や磁界強度の強い場所で使用／保管しないでください。故障の原因となります。

曲げたり、強い衝撃を与えたり、落したり、投げつけたりしないでください。特に、ズボンのポケットや、かばんの中で強い圧力がかかる状態は避けてください。故障、破損、火災の原因となります。

ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落下により故障、けがの原因となります。

コネクタ部分には無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

電子機器の使用が制限されている場所では使用しないでください。

自動車、自転車などの運転中には操作しないでください。

シュレッダーなどの巻き込みの危険性があるところでは、首にかけたまま使用しないでください。

結露しやすい場所、大きな振動が与えられる場所や運動中は使用しないでください。

万一、異常な臭いがしたり、発熱・発煙した場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、当社までご相談ください。火災、故障のおそれがあります。

使用電圧、使用温度、使用湿度は巻末の仕様一覧に記載されている定格範囲内でご使用ください。定格外の使用条件で使用すると、火災、故障の原因となります。

乳幼児の手の届かないところで使用／保管してください。けが、感電、故障の原因となります。

付属イヤホンの使用により、肌に異常や違和感を感じた場合は、ただちに使用を中止し、医師または当社ユーザーサポートセンターにご相談ください。

本機（本体および付属品）の取り扱いについて

 警 告

	本機に内蔵している充電式電池パックの交換や取り外しは、お客様では行わないでください。不適切な取り扱いにより、電池パックの破裂、爆発、発火のおそれがあります。
	電池パック部から漏れた液を素手で触らないでください。目に入ると、失明の原因になることがあります。万が一目に入った場合は、目をこすらず、すぐにきれいな水で洗い流して、ただちに医師の診断を受けてください。また、液が皮膚や衣服に付着した場合も、やけどや炎症のおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流して、異常な症状がある場合は医師の診断を受けてください。
	電池パックを他の目的のために取り外して再利用しないでください。
	AC アダプタを安定している場所に置いてください。不安定な場所や高い場所に置くと落下の危険があり、破損、けがの原因となります。
	AC アダプタに布やカバーなどを触れたり、覆わないようにしてください。熱がこもり、故障、破損、火災の原因となります。
	ご使用中に電池パック部の膨れによるケースの変形や破損、液漏れ、異常な発熱や発煙、においが発見された場合はただちに使用を中止し、AC アダプタの接続を外し、当社までご連絡ください。
	廃棄される場合は、当社サポートセンターまでご相談ください。廃棄のための電池パックの取り外し・分解・改造・火中への投下・水中への投下・針等を刺す・ハンマーで叩く・踏みつける等の行為を行わないでください。異常な発熱・発火・発煙・爆発のおそれがあります。

もくじ

機能別もくじ

ラジオを聞く

録音する

ラジオを録音する

内蔵マイクで録音する

外部マイクで録音する

外部機器の音源を録音する

再生する

削除する

1 つのファイルを削除する

すべてのファイルを削除する

すべてのファイルとフォルダを削除する

予約する

予約再生する（ラジオ）

予約再生する（ファイル）

予約録音する（ラジオ）

予約録音する（外部音源）

予約停止（電源 OFF）する

パソコンを使用する

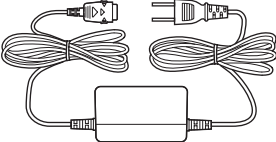
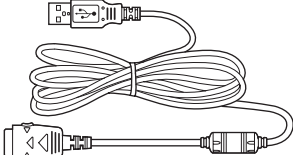
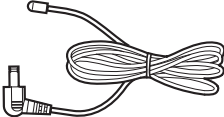
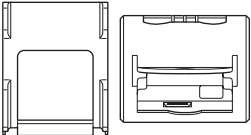
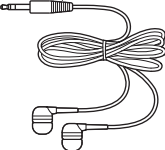
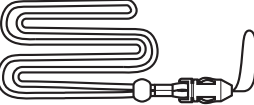
ファイルやフォルダをコピーする

フォーマットする

ファイルを修復する

予約する

単語帳機能を使用する

製品内容

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

概要解説

本機の付属品は、専用品と汎用品とに分類されます。本体内蔵の電池パック、および下記の専用品の消耗、故障、破損、紛失については、サポートセンターにお問い合わせください。

分類				
専用品	トークマスタースリム本体	ACアダプタ	USBケーブル	FMケーブルアンテナ
専用品	クレードル	Windows用CD-ROM	取扱説明書 2冊（基本編・応用編）	
汎用品	ステレオイヤホン付属	ネックストラップ付属		

各部の名称と機能

概要解説

本機各部の機能は、機器の状態や選択されているモードによって動作が異なります。表中では【　】内に機器の状態や選択モードを示しています。なお、表中の長はボタンの長押し、短はボタンの短押しを示します。

左側面部　正面部　右側面部

底面部

裏面部

No.	名称	機能	参照
①	▶II （再生／停止／決定）	【電源 ON ／ OFF】 長：電源のON/OFFを切り替えます。 【TM ／ MUSIC モード】 短：ファイルの再生を開始／停止します。フォルダプレイでフォルダを選択している場合は、フォルダを開きます。 【録音中】 短：録音を一時停止します。 【録音一時停止中】 短：録音を再開します。 【メニュー画面など】 短：項目を選択／確定します。	P.22 P.44 P.34 P.56
②	<◀ （左ボタン）	【TM ／ MUSIC モード】 ［ファイル選択画面］ 短：フォルダプレイでフォルダを開いている場合は、フォルダを閉じます。 ［再生中／停止中］ 短：ファイルを再生しながら早戻しします。 <◀ を押すごとに早戻し速度が上がります。 【AM ／ FM モード】 短：周波数を下げます。 長：周波数を下げて放送局を自動選局します。 【メニュー画面など】 短：選択項目が左方向へ移動します。または選択項目が切り替ります。	P.45 P.45 P.30 P.31 P.56

③	▶>（右ボタン）	【TM／MUSICモード】 ［ファイル選択画面］ 短：フォルダプレイでフォルダを選択している場合は、フォルダを開きます。 ［再生中／停止中］ 短：ファイルを再生しながら早送りします。 ▶>を押すごとに早送り速度が上がります。 【AM／FMモード】 短：周波数を上げます。 長：周波数を上げて放送局を自動選局します。 【メニュー画面など】 短：選択項目が右方向へ移動します。または選択項目が切り替ります。	P.45 P.45 P.30 P.31 P.56
④	▲（上ボタン）	【TM／MUSICモード】 ［ファイル選択画面］ 短：ファイルリストを上方向へスクロールします。 長：ファイルリストを上方向へ連続スクロールします。 ［再生中］ 短：前のファイルの先頭へスキップします。 長：前のファイルへ連続スキップします。 ［停止中］ 短：ファイル選択画面に戻ります。	P.46 P.46
④続き	▲（上ボタン）	【AM／FMモード】 短：プリセットに登録されている放送局がチャンネルアップします。 【メニュー画面など】 短：選択項目が上方向へ移動します。	P.32 P.56
⑤	▼（下ボタン）	【TM／MUSICモード】 ［ファイル選択画面］ 短：ファイルリストを下方向へスクロールします。 長：ファイルリストを下方向へ連続スクロールします。 ［再生中］ 短：次のファイルの先頭へスキップします。 長：次のファイルへ連続スキップします。 ［停止中］ 短：ファイル選択画面に戻ります。 【AM／FMモード】 短：プリセットに登録されている放送局がチャンネルダウンします。 【メニュー画面など】 短：選択項目が下方向へ移動します。	P.46 P.46 P.32

⑥	メニュー	短：メニュー画面が表示されます。 各種設定を行います。 **【メニュー画面】** 短：トップ画面に戻ります。	P.56
⑦	速度	**【TM ／ MUSIC モード】** ［再生中］ 短：再生速度を変更します。 ［ファイル選択時］ 短：お気に入りを登録／解除します。	P.78 P.47 P.101
⑧	戻る	**【TM ／ MUSIC モード】** ［ファイル一時停止中］ 短：ファイル選択画面に戻ります。 **【メニュー画面】** 短：前の画面に戻ります。	P.97
⑨	A ↔ B	**【TM ／ MUSIC モード】** 長：ファイルリピートの方法を変更します。 ［ファイル選択画面］ 短：メモリカード装着時にメモリを選択します。 ［再生中］ 短：A-B 間リピート／ワンタッチリピートを開始します。 **【AM ／ FM モード】** 短：メモリカード装着時に録音先メモリを選択します。	P.48 P.36 P.48 P.36

⑩	内蔵 スピーカ	付属のステレオイヤホンを接続すると、内蔵スピーカからの音は聞こえなくなります。 **⚠注 意** スピーカに磁気カード類を近づけないでください。磁気データが破壊され、使用できなくなることがあります。	
⑪	モード	短：モード（TM／AM／FM／MUSIC）を選択します。 **【TM ／ MUSIC モード】** ［ファイル選択画面］ 長：再生スタイルを選択します。	P.25 P.43
⑫	録音／ レッスン	**【TM ／ MUSIC モード】** ［ファイル選択画面］ 短：内蔵マイクまたは LINE/MIC 入力の録音を開始します。 ［再生中］ 短：レッスン機能の録音を開始／終了します。 **【AM ／ FM モード】** 短：AM／FMラジオの録音を開始します。 **【録音中】** 短：録音を停止します。 **【予約録音中】** 短：予約録音を停止します。	P.38 P.105 P.34 P.42
⑬	液晶画面	操作画面やメニュー、メッセージなどが表示されます。 画面のバックライト・コントラスト・スクロール速度・ID3タグ・言語の設定は変更することができます。	P.138

⑭	内蔵マイク	音声などを録音する小型内蔵マイクです。	P.1
⑮	赤色LED	**【録音中／レッスン機能録音中】** 点灯します。 **【予約動作中】** 点灯します。 **【電源 OFF 時】** 予約がある場合は点滅します。 **【予約設定時】** 次の予約がメモリーの残量不足のため、録音できない場合に点滅します。	P.23 P.51

左・右側面部

No.	名称	機能	参照ページ
⑯	LINE/MIC端子（外部入力端子）	オーディオ機器などから本機へ録音する際に、付属の専用オーディオケーブルを接続します。 市販のマイクを接続して音声などを録音することもできます。	P.38 P.40
⑰	SD CARD（メモリカード挿入口）	カバーを開けて、SDメモリカードを挿入します。	P.126
⑱	VOLUME（音量調節ボタン）	音量を調節します。 ＋側：音量アップ －側：音量ダウン 短：音量がアップ／ダウンします。 長：音量が連続してアップ／ダウンします。	P.24
⑲	HOLD（ホールドスイッチ）	［HOLD］スイッチをONにすると、ボタン操作が無効になります。 **【予約録音】** ［HOLD］スイッチをONにしておくと、予約録音中のスピーカからのモニタ音を消すことができます。	P.26
⑳	RESET（リセットスイッチ）	ボタン操作や画面表示などに異常が発生した場合に使用します。	P.132

裏・底面部

No.	名称	機能	参照ページ
㉑	PHONES端子（イヤホン端子）	付属のステレオイヤホンを接続します。	P.19
㉒	TMコネクタ	付属のUSBケーブル／ACアダプタを接続します。	P.109

画面表示

概要解説

本機には、ラジオやファイルの聴取・録音時に表示される以下の 4 つの基本モード画面があります。

- TM モード画面
- AM モード画面
- FM モード画面
- MUSIC モード画面

電源を ON にしたときは、上記いずれかのモード画面が表示されます。

本項では、これら 4 つのモード画面表示について説明します。

各種設定等を行うメニュー・設定画面については、それぞれの操作の項を参照してください。

関連事項

・一般操作／モード選択操作（P.25）

TM モード画面

概要解説

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

No.	名称	機能	参照ページ
①	日付	月・日・曜日が表示されます。	P.58
②	時刻	現在の時刻（時：分：秒）が表示されます。	
③	充電レベル	電池パックの充電レベルが表示されます。	P.17
④	モード表示	TMが表示されます。 レッスンモードの動作中は、LESSONが表示されます。	P.25 P.105
⑤	使用メモリ	… SDメモリカード選択中 （表示なし）…内蔵メモリ選択中	P.36
⑥	ファイルリピート表示	… すべてのファイルをファイル番号順に再生して停止します。 … 1ファイルのみを再生して停止します。 … 1ファイルのみをリピート再生します。 … すべてのファイルをファイル番号順にリピート再生します。 … すべてのファイルをランダムにリピート再生します。 A- … A-B間リピート機能の設定中に表示されます。 A-B … A-B間リピート機能およびワンタッチリピート機能の再生中に表示されます。	P.48
⑦	ファイル番号	選択中のファイル番号／総ファイル数が表示されます。 フォルダ選択時は、000／総ファイル数と表示されます。	
⑧	ファイル・フォルダリスト	ファイルやフォルダのリストが表示されます。	
⑨	ファイル番号	再生中のファイル番号／ファイル数が表示されます。	
⑩	動作／再生速度表示	【再生中】 … 0.5倍速 … 0.7倍速 … 1.3倍速 … 1.5倍速 【停止中】 が表示されます。 【早戻し／早送り中】 3倍速では ／ が表示されます。 10倍速では ／ が表示されます。 100倍速では ／ が表示されます。 500倍速では ／ が表示されます。 【録音中】 が表示されます。	P.47 P.45
⑪	ビットレート表示	【再生中／録音中】 ファイルのビットレートが表示されます。	
⑫	再生／録音時間	【再生中／録音中】 ファイルの再生／録音時間が表示されます。	

⑬	ファイル情報	**【再生中／録音中】** ファイル情報が表示されます。	P.122
⑭	メモリ残量表示	**【再生中／一時停止中】** 現在のメモリ残量（MB メガバイト）が表示されます。 **【録音中】** 録音できる残り時間が表示され、リアルタイムに変化します。	
⑮	マーク表示	ファイルに設定されているマークが表示されます。 … しおり … ファイル保護 ★… お気に入り	P.101

MUSIC モード画面

概要解説

No.	名称	機能	参照ページ
①	日付	月・日・曜日が表示されます。	P.58
②	時刻	現在の時刻（時：分：秒）が表示されます。	
③	充電レベル	電池パックの充電レベルが表示されます。	P.17
④	モード表示	MUSICが表示されます。 レッスンモードの動作中は、LESSONが表示されます。	P.25 P.105
⑤	使用メモリ	SD … SDメモリカード選択中 （表示なし）…内蔵メモリ選択中	P.36
⑥	ファイルリピート表示	A … すべてのファイルをファイル番号順に再生して停止します。 1 … 1ファイルのみを再生して停止します。 1 … 1ファイルのみをリピート再生します。 A … すべてのファイルをファイル番号順にリピート再生します。 R … すべてのファイルをランダムにリピート再生します。 A_ … A-B 間リピート機能の設定中に表示されます。 A_B … A-B 間リピート機能およびワンタッチリピート機能の再生中に表示されます。	P.48

本機概要 / 一般操作 / 選局操作 / 録音操作 / 再生操作 / 設定操作 / ファイル操作 / 特殊操作 / パソコン接続 / 用語解説

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

⑦	ファイル番号	選択中のファイル番号／総ファイル数が表示されます。 フォルダ選択時は、000／総ファイル数と表示されます。	
⑧	ファイル・フォルダリスト	ファイルやフォルダのリストが表示されます。	
⑨	ファイル番号	再生中のファイル番号／ファイル数が表示されます。	
⑩	動作／再生速度表示	**【再生中】** … 0.5倍速 … 0.7倍速 … 1.3倍速 … 1.5倍速 **【停止中】** が表示されます。 **【早戻し／早送り中】** 3倍速では ／ が表示されます。 10倍速では ／ が表示されます。 100倍速では ／ が表示されます。 500倍速では ／ が表示されます。 **【録音中】** が表示されます。	P.47 P.45
⑪	ビットレート表示	**【再生中／録音中】** ファイルのビットレートが表示されます。	
⑫	再生／録音時間	**【再生中／録音中】** ファイルの再生／録音時間が表示されます。	

⑬	ファイル情報	**【再生中／録音中】** ファイル情報が表示されます。	P.122
⑭	メモリ残量表示	**【再生中／一時停止中】** 現在のメモリ残量（MB メガバイト）が表示されます。 **【録音中】** 録音できる残り時間が表示され、リアルタイムに変化します。	
⑮	マーク表示	ファイルに設定されているマークが表示されます。 … しおり … ファイル保護 ★… お気に入り	P.101

AM モード画面

概要解説

No.	名称	機能	参照ページ
①	日付	月・日・曜日が表示されます。	P.58
②	時刻	現在の時刻（時：分：秒）が表示されます。	
③	充電レベル	電池パックの充電レベルが表示されます。	P.17
④	モード表示	AMまたはFMが表示されます。	P.25
⑤	プリセット	プリセットのチャンネル番号が表示されます。	P.32
⑥	使用メモリ	SD … SDメモリカード選択中 （表示なし）…内蔵メモリ選択中	P.36
⑦	周波数	受信中の周波数が表示されます。	
⑧	メモリ残量表示	現在選択されているモード（AMまたはFM）で録音できる残り時間（メモリ残量）が表示されます。 メモリ残量は、録音設定で設定されたビットレートにより増減します。 録音中は、リアルタイムにメモリ残量が変化します。 **⚠注 意** 予約の設定でビットレートを変更すると、録音時間残量は変化しますので注意してください。	

FM モード画面

概要解説

No.	名称	機能	参照ページ
①	日付	月・日・曜日が表示されます。	P.58
②	時刻	現在の時刻（時：分：秒）が表示されます。	
③	充電レベル	電池パックの充電レベルが表示されます。	P.17
④	モード表示	AMまたはFMが表示されます。	P.25
⑤	プリセット	プリセットのチャンネル番号が表示されます。	P.32
⑥	使用メモリ	SD … SDメモリカード選択中 （表示なし）…内蔵メモリ選択中	P.36
⑦	周波数	受信中の周波数が表示されます。	
⑧	メモリ残量表示	現在選択されているモード（AMまたはFM）で録音できる残り時間（メモリ残量）が表示されます。 メモリ残量は、録音設定で設定されたビットレートにより増減します。 録音中は、リアルタイムにメモリ残量が変化します。 **⚠注 意** 予約の設定でビットレートを変更すると、録音時間残量は変化しますので注意してください。	

クレードルの組み立て

概要解説

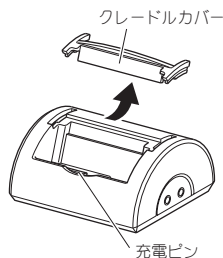
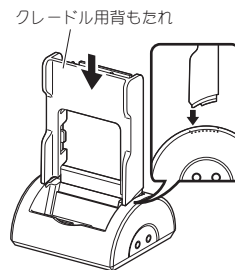
付属のクレードルは、工場出荷時の状態でもご使用いただけます。

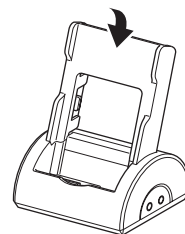
この場合は、下記操作手順 1 ～ 3. を省略し、クレードルに AC アダプタのコネクタを接続してください。

別売の AM ループアンテナを使用する場合は、クレードル用背もたれが必要です。その場合は、下記組立手順を参照してください。

組立手順

1. クレードルカバーを外します。

クレードルカバーのでっぱりを、前に押し出すと簡単に外れます。

2. クレードル用背もたれをクレードルに合わせます。

3. クレードル用背もたれを押さえ、後ろに傾けます。

カチッと音がするまで差し込んでください。

注意事項

・充電ピンに直接指を触れないでください。

・付属のACアダプタ以外は絶対に使用しないでください。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

本機の充電

概要解説

本機の充電には、以下の 2 とおりの方法があります。
どちらの充電方法でも、充電時間等は同じです。

・本機をクレードルに装着して充電する方法
・本機に直接 AC アダプタを接続して充電する方法

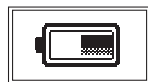
充電時の画面表示は次のとおりです。

〈電源が OFF のとき〉

充電中は画面に「充電中」と表示されます。

画面に何も表示されない場合は、10 秒ほど待ってから本機をクレードルに入れ直してください。

充電中

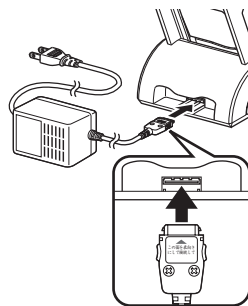
充電が完了すると、画面に「充電完了」と表示されます。

充電完了

〈電源が ON のとき〉

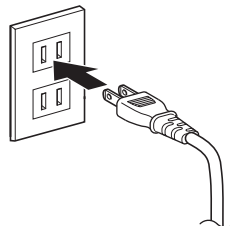
上記の電源 OFF 時充電画面は表示されませんが、画面右上の電池マークが点滅します。

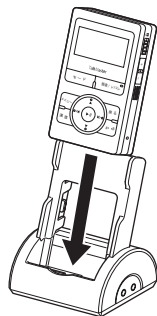
フル充電の状態で再生は約 15 時間、録音は約 10 時間使用できます。ただし、この使用時間は目安であり、状況により使用時間は変化します。

操作手順 **クレードルに装着して充電**

1. クレードルにACアダプタのコネクタを接続します。

⚠注 意
コネクタの向きを確認して接続してください。コネクタ部分に無理な力を加えると故障の原因となります。

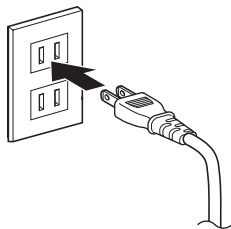
2. 家庭用電源コンセントに AC アダプタのコンセントを差し込みます。

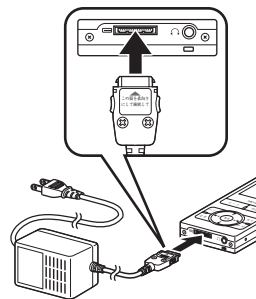
パソコンなどと同じコンセントを使用しないでください。ノイズの原因となります。

⚠警 告
付属のACアダプタ以外は使用しないでください。仕様の異なる電源に接続すると電池パックが発火するおそれがあります。

3. 本機をクレードルに装着します。
充電を開始します。

⚠警 告
クリップや安全ピンなどの金属物を充電ピンのある部分へ入れないでください。感電、故障の原因となります。

⚠注 意
本機をクレードルへ装着する際に、コネクタ部分に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

操作手順 **直接 AC アダプタを接続して充電**

1. 家庭用電源コンセントに AC アダプタのコンセントを差し込みます。

⚠警 告
付属のACアダプタ以外は使用しないでください。仕様の異なる電源に接続すると電池パックが発火するおそれがあります。

2. AC アダプタのコネクタは本機へ接続します。
充電を開始します。

⚠警 告
AC アダプタに布団や衣類などがかぶった状態で使用しないでください。放熱が妨げられ、ケースの変形、火災の原因となります。

⚠注 意
コネクタの向きを確認して接続してください。コネクタ部分に無理な力を加えると故障の原因となります。

注意事項

- 充電中でも本機を使用することはできます。
- 満充電の状態にするには、約 4 時間の充電時間が必要です。ただし、上記の充電時間はあくまで目安であり、充電前の充電状況により変化します。
  充電時間は、AC アダプタによる充電でも、USB 接続による充電でも同様です。
- 充電時間は、電源コンセントを使用する環境によっても影響があります。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

・本機に使用されている電池パックは、電池の残量がゼロになる前に充電しても電池寿命への影響はほとんどありません。
したがって、電池の残量を使い切ってから充電をする必要はありません。（常に AC アダプタ / 充電クレードルにセットして使用しても問題ありません。）

・本機を付属の USB ケーブルでパソコンに接続して充電することができます。
詳細については、「パソコン接続操作」を参照してください。

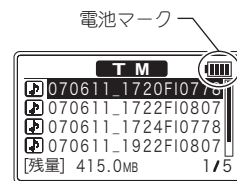
関連事項

・パソコン接続（P.109）

・故障かなと思ったら（P.130）

電池の残量表示

概要解説

本機の電池残量を画面右上の電池マークで表示します。

電池マークの示す内容は、以下のとおりです。

十分あります。	
若干消耗しました。	
半分消耗しました。	
残りわずかです。 早急に充電してください。	
電池残量が空です。本機を動作させるためには充電してください。	

電池が不足すると、画面に「充電してください」と表示された後、自動的に電源が切れます。

充電してください

上記メッセージが表示されて電源が切れた場合、約 1 週間、カレンダーと時計の設定を保持していますが、それ以降はリセットされます。

注意事項

- 本機を使用しなくても 2 週間以上放置すると、電池の残量はゼロになります。
- 長時間録音する場合、録音中に電池が不足すると自動的に録音が中断されてしまいます。
  録音前には、残量表示をよく確認してから録音を開始してください。
  長時間録音の前には、満充電しておくことをお勧めします。
- 電池パックには寿命があります。充電を繰り返すうちに使用時間が次第に短くなります。
  使用時間が短くなってきたら、新しい電池パックとの交換が必要になります。
- 電池パックはメーカー交換となります。電池パックの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。

関連事項

- ユーザーサポートセンター（P.150）

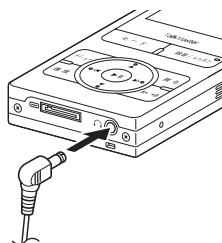
付属品の接続

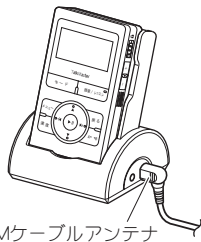
FM ケーブルアンテナ

概要解説

FM ラジオを内蔵スピーカで聞くときは、FM ケーブルアンテナを使用します。

操作手順

1. 本機の底面にあるPHONES 端子（イヤホン端子）に FM ケーブルアンテナのプラグを差し込みます。

注意事項

- FM ケーブルアンテナを動かして、良好に受信できる位置をみつけてください。
- FM ケーブルアンテナを接続しても AM の受信感度については変わりがありません。ご留意ください。
- クレードルに装着し、FM ケーブルアンテナを接続して使用することもできます。

ステレオイヤホン

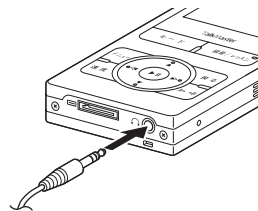
概要解説

ステレオイヤホンはFMラジオを聞く際のアンテナの役目をします。

FM ラジオをステレオイヤホンで聞く場合は、FM ケーブルアンテナを接続する必要はありません。

S、M、L の 3 サイズのイヤーピースを用意していますので、お好みのサイズを取り付けてご使用ください。

操作手順

1. 本機の底面にあるPHONES 端子（イヤホン端子）にステレオイヤホンのプラグを差し込みます。

注意事項

- イヤホンのケーブルを本機に巻き付けないでください。ケーブルが断線したり、ラジオのノイズが大きくなったりします。
- イヤホンを接続すると、スピーカからの音は出なくなります。
- 市販のイヤホンを使用することもできます。（一部製品を除く）

ネックストラップ

概要解説

本機に付属のネックストラップを取り付け、首からさげた状態で使用することで落下を防止します。

⚠警 告

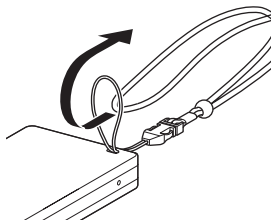
激しく体を動かすときや、シュレッダーなどの巻き込みの危険があるところではネックストラップを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

操作手順

1. ネックストラップの細いひもの部分を本機の下部にあるストラップ取付穴に通します。

2. 細いひもの輪にストラップの部分を通します。

3. ストラップの部分を引き出して結び目ができるようにします。

ほどけないよう、強めに引っ張ってください。

ボタン操作

短押し・長押し

概要解説

本機のボタン操作は、「短押し」と「長押し」の 2 とおりの方法があります。

操作手順 **短押し**

1. ボタンを押してから 1 秒以内に離します。

操作手順 **長押し**

1. ボタンを画面が変化するまで押し続けます。

電源 ON

概要解説

本機の電源を ON にします。

電源を入れたときに表示されるモードは、前回、電源をOFF にしたときのモードです。

操作条件

以下の場合は、電源を ON にできません。

・充電が空のとき

操作手順

1. ［▶||］を起動画面が表示されるまで長押しします。

「TM」、「AM」、「FM」、「MUSIC」のいずれかのモードが表示されます。

注意事項

・電源が ON にならない場合は、本機を充電してください。

関連事項

・本機概要／充電方法（P.14）

・一般操作／モード選択操作（P.25）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

電源 OFF

概要解説

本機の電源を OFF にします。

本機の電源を OFF にする方法は、本操作以外に「スリープタイマー」、「自動オフタイマー」による方法があります。

操作条件

以下の場合は、電源を OFF にできません。

- 設定操作中
- AM/FM モード時の録音中
- AM/FM モード時の録音一時停止中

操作手順

1. [▶||] をエンディング画面が表示されるまで長押しします。
   電源が OFF になります。

注意事項

- 予約録音が設定されている場合は、赤色 LED が点滅し電源が OFF になります。
- AM 画面表示設定が OFF の場合、AM モードで 2 秒間ボタン操作がないと画面が消灯していますが、電源は ON の状態です。この状態から電源を OFF にするときは、いずれかのボタンを押して画面を表示させ、2 秒以内に電源 OFF の操作を行ってください。

関連事項

- 設定操作／システム設定操作／スリープタイマー（P.63）
- 設定操作／システム設定操作／自動オフタイマー（P.64）
- 設定操作／画面設定操作／ AM 画面表示（P.91）

音量操作

概要解説

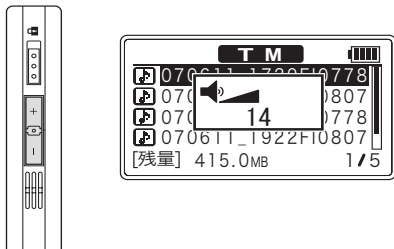
本機の音量は、本機右側面にある[+]、[−]で調節します。

音量は 0 ～ 30 レベルの間で調節することができます。

初期音量を設定すると電源を入れたときの音量レベルを 10 ～ 25 レベルの間で設定することができます。

操作手順

1. ［+］を押すと音量が大きくなり、［−］を押すと音量が小さくなります。

［+］または［−］を押すと、音量が 1 レベル単位でアップダウンし、長押しすると連続してアップダウンします。

注意事項

- 録音中の音量調節はモニタ音量の調節であり、録音レベルとは関係ありません。
- 音量は周囲の音が聞こえる程度でお聞きください。
- 音量を 10 ～ 25 レベルの間で設定した場合は、次回電源 ON 時に、電源 OFF 時に設定していたボリュームレベルで起動します。

関連事項

- 設定操作／サウンド設定操作／初期音量（P.81）

モード選択操作

概要解説

本機では、操作の目的に応じて下表に示す 4 つのモードを用意しています。

モード	内　容	画面表示
TM	予約録音したファイルを再生します。	6月 8日(金) 17:24:22 070611_1720FI0778 070611_1722FI0807 070611_1724FI0778 070611_1922FI0807 [残量] 415.0MB 2/5
AM	AMラジオを受信／録音します。	6月 8日(金) 17:24:22 729KHz [残量]36:00:22
FM	FMラジオを受信／録音します。	6月 8日(金) 17:24:22 76.00MHz [残量]36:00:22
MUSIC	手動録音したファイル、パソコンからダウンロードしたファイルを再生します。	6月 8日(金) 17:24:22 070611_1720AI0522 070611_1722MI_000 070611_1724MI_000 070611_1922MI_000 [残量] 415.0MB 5/5

※ 本書では、電源を ON にしたときに表示される各モードの最初の画面を「トップ画面」と記載しています。

操作条件

以下の操作時は、システム設定操作は行えません。

- AM/FM モード時の録音中
- AM/FM モード時の録音一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード] を押します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順にモードが切り替わります。

誤動作防止操作（ホールド機能）

概要解説

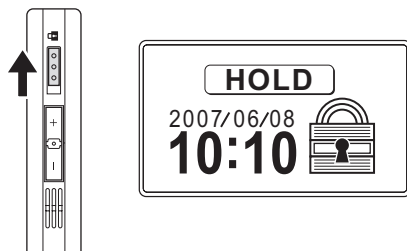
本機では、誤ったボタン操作を防止するためにホールド機能を用意しています。

ホールド機能がONのときはボタン操作が無効となります。

また、ホールド機能を ON にしておくと、予約録音中のスピーカからのモニタ音を消すことができます。

操作手順

1. 本機の右側面にある［HOLD］を矢印の方向へスライドさせます。

画面に「HOLD」と 3 秒間表示され、ボタン操作が無効になります。

2. 解除するには、［HOLD］を元に戻します。

注意事項

- 予約録音のモニタ音を聞きたい場合は、ホールド機能を OFF にしてください。

関連事項

- 録音操作／予約録音操作（P.42）

メニュー画面とボタン操作

概要解説

本機の各種設定は、一部の設定を除きメニュー画面から行います。

メニュー画面から設定画面への移行や、設定内容の変更・決定には、[▲]、[▼]、[<<◀]、[▶>>]、[▶‖]の５つのボタンを使用します。

特別な設定方法（予約確認／設定画面における曜日指定など）を除き、各ボタンは同じ操作に使用されます。

※ 本書では、メニュー画面から各種設定画面への移行について、以下の図を参考として記載し、詳細な操作手順を省略しています。詳細な操作手順については、本項の 操作手順 を参照してください。なお、下記例は、メニュー画面から予約確認／設定画面を表示させる過程を示しています。ファイル再生中、一時停止中の場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

(▶‖)

予約画面
予約確認／設定
予約状況一覧
予約機能

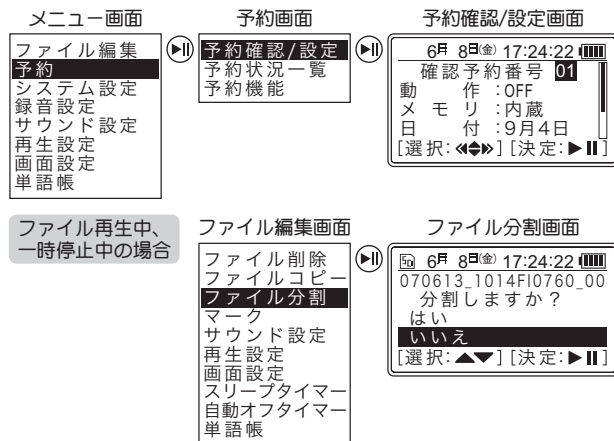
(▶‖)

予約確認/設定画面
6月 8日(金) 17:24:22
確認予約番号 01
動　作：OFF
メモリ：内蔵
日　付：9月4日
[選択:◀◆▶][決定:▶‖]

ファイル再生中、一時停止中の場合

ファイル編集画面
ファイル削除
ファイルコピー
ファイル分割
マーク
サウンド設定
再生設定
画面設定
スリープタイマー
自動オフタイマー
単語帳

(▶‖)

ファイル分割画面
6月 8日(金) 17:24:22
070613_1014FI0760_00
分割しますか？
はい
いいえ
[選択:▲▼][決定:▶‖]

操作条件

以下の場合は、設定操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中

操作手順 メニュー画面の表示

1. 操作している動作があれば停止します。

2. 各モードのトップ画面に戻ります。

設定操作を行っている場合は、［メニュー］を押すと、各モードのトップ画面に戻ります。

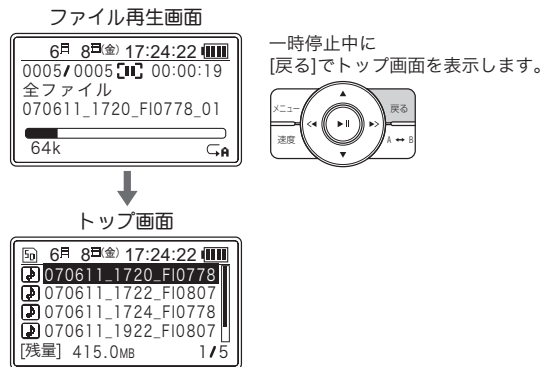
TM/MUSIC モードでファイルを再生している場合は、[▶‖]を押し、一時停止後、［戻る］を押すと、TM/MUSIC モードのトップ画面に戻ります。

TM／MUSICモードの場合

ファイル再生画面

一時停止中に
[戻る]でトップ画面を表示します。

トップ画面

6月 8日(金) 17:24:22
070611_1720_FI0778
070611_1722_FI0807
070611_1724_FI0778
070611_1922_FI0807
[残量] 415.0MB 1/5

3. ［メニュー］を押します。

メニュー画面が表示されます。

AM/FM モード時は、「ファイル編集」の項目が非アクティブ表示（選択不可）となります。

操作手順　設定画面の表示

1. [▲]、[▼] を押して、目的の設定を選択します。

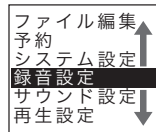
例：メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定

[▲]、[▼]で移動します。

2. ［▶||］を押します。

目的の設定画面が表示されます。

さらに設定画面の選択がある場合は、手順 1、2 を繰り返します。

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定

[▶||]で決定します。

操作手順　設定内容の変更・決定（1 画面中に複数の設定項目がある場合）

1. [▲]、[▼] を押して、設定内容を変更する項目を選択します。

例：予約確認/設定画面

動　作：OFF
メモリ：内蔵
曜日/日付：曜日
曜　日：月水
録音元：MIC
開始時刻：13時

[▲]、[▼]で移動します。

2. [<◀]、[▶>] を押して、設定内容を変更します。

目的の設定内容が表示された状態で設定項目を移動すると、表示された内容を確定します。

動　作：OFF
メモリ：内蔵
曜日/日付：曜日
曜　日：月水
録音元：MIC
開始時刻：13時

[<◀]、[▶>]で変更します。

3. ［▶||］を押します。

保存確認画面が表示されます。

4. [<◀] を押して「はい」を選択し、[▶||] を押します。

設定内容を確定して前画面に戻ります。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

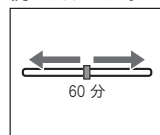
操作手順 **設定内容の変更・決定(1 画面中に選択内容がある場合)**

1. [▲]、[▼]または[<<◀]、[▶>>]を押して、設定内容を変更します。

2. [▶||]を押します。

設定内容を確定して前画面に戻ります。

例：地域設定画面

例：スリープタイマー画面

概要解説

本機のラジオ選局には「手動選局」、「自動選局」、「プリセット選局」の 3 つの操作方法があります。

手動選局は、自動選局できない放送局を聞く場合などに、周波数を変化させて放送局を選局する方法です。

操作条件

以下の場合は、手動選局操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・TM/MUSIC モード時
・その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード]を押してAMまたはFMモードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。

3. [<<◀]、[▶>>] を押します。

周波数は [<<◀] を押すと低くなり、[▶>>] を押すと高くなります。
本機で受信可能な周波数域と変化量は以下のとおりです。

バンド	周波数域	変化量
AM	522kHz～1629kHz	9kHz単位
FM	76.00MHz～108.00MHz	0.1MHz単位

4. 放送局の周波数に合わせます。

テレビ（1 ～ 3ch）の音声を聞くときは、FM ラジオの周波数を「1ch：95. 7MHz」、「2ch：101. 7MHz」、「3ch：107. 7MHz」に合わせます。

注意事項

・選局中はプリセット表示が消えますが、故障ではありません。

・AM 画面表示設定が OFF の場合、AM モードで 2 秒間ボタン操作がないと画面が消灯します。手動選局操作を行うときは、いずれかのボタンを押して画面を表示させ、2 秒以内に操作を開始してください。

関連事項

・選局操作／自動選局操作（P.31）
・選局操作／プリセット選局操作（P.32）
・設定操作／画面設定操作／ AM 画面表示（P.91）

自動選局操作

概要解説

本機のラジオ選局には「手動選局」、「自動選局」、「プリセット選局」の 3 つの操作方法があります。

自動選局は、電波を受信するまで自動的に周波数を変化させ、放送局を選局する方法です。

操作条件

以下の場合は、手動選局操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- TM/MUSIC モード時
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード]を押してAMまたはFMモードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。

3. [<<◀]、[▶>>] を長押しします。

周波数は [<<◀] を長押しすると低くなり、[▶>>] を長押しすると高くなります。
放送局の電波を受信するまで変化します。
電波を受信すると、自動的に選局が停止します。

4. 自動選局された放送局が目的の放送局でない場合は、再度自動選局します。

自動選局を途中で止める場合は [<<◀]、[▶||]、[▶>>] を押してください。

注意事項

- 選局中はプリセット表示が消えますが、故障ではありません。
- 放送局以外の電波を受信した場合でも自動選局したと判断され、自動選局を停止します。
- 放送局の電波が弱く、自動選局できない場合は手動選局してください。
- AM 画面表示設定が OFF の場合、AM モードで 2 秒間ボタン操作がないと画面が消灯します。自動選局操作を行うときは、いずれかのボタンを押して画面を表示させ、2 秒以内に操作を開始してください。

関連事項

- 選局操作／プリセット選局操作（P.32）
- 設定操作／画面設定操作／ AM 画面表示（P.91）

プリセット選局操作

概要解説

本機のラジオ選局には「手動選局」、「自動選局」、「プリセット選局」の３つの操作方法があります。

プリセット選局は、あらかじめ放送局が登録されたチャンネルを選んで選局する方法です。

操作条件

以下の場合は、プリセット選局操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- TM/MUSIC モード時
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード]を押してAMまたはFMモードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。

3. [▲]、[▼] を押して、登録されたチャンネルを選択します。

[▲] を押すとチャンネルアップし、[▼] を押すとチャンネルダウンします。選択した放送局の放送を聞くことができます。

注意事項

- AM 画面表示設定が OFF の場合、AM モードで２秒間ボタン操作がないと画面が消灯します。プリセット選局操作を行うときは、いずれかのボタンを押して画面を表示させ、２秒以内に操作を開始してください。

関連事項

- 選局操作／プリセット登録操作（P.33）
- 設定操作／画面設定操作／ AM 画面表示（P.91）

プリセット登録操作

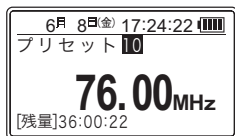
概要解説

地域設定を行うと、放送局を自動でプリセットに登録します。

地域設定で自動登録されなかった放送局は、手動でプリセットに登録することができます。

6月 8日(金) 17:24:22
プリセット 10
76.00MHz
[残量]36:00:22

また、地域設定を行わず、放送局をすべて手動で登録することもできます。

AM/FM モードともに 10 チャンネルまでプリセットに登録することができます。

操作条件

以下の場合は、プリセット登録操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- TM/MUSIC モード時
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード]を押してAMまたはFMモードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。

3. 登録したい放送局を選局します。

参照 手動選局操作（P. 30）／自動選局操作（P. 31）

4. [▶ll] を押します。

プリセット表示が点滅します。

5. [▲]、[▼] を押して登録するプリセットチャンネルを選択します。

[▲] をを押すとチャンネルアップし、[▼] を押すとチャンネルダウンします。

6. [▶ll] を押します。

選択したプリセットチャンネルに放送局が登録されます。

注意事項

- すでに登録されているプリセットチャンネルを選択した場合は、上書きされます。
- プリセットの登録内容を変更しても予約で設定された周波数は変更されません。
- 本機でプリセットを登録した場合は、放送局名は入力できません。放送局名を入力する場合は、付属のソフトを使用してください。

関連事項

- 設定操作／システム設定操作／地域設定（P.59）

概要解説

本機の録音操作には、手動録音と予約録音の 2 種類があります。

6月 8日(金) 17:24:22
0001/0001 00:01:25
FM
070608_1724FI0778_00
[残量]36:00:22 32k

どちらの操作も録音を開始すると録音ファイルが作成され、それぞれ AM・FM・MIC・LINE フォルダまたは TIMERREC フォルダに保管されます。再生の際のフォルダ選択は、再生スタイルの選択によって行います。録音先には内蔵メモリと外部メモリカードがあり、どちらかを選択します。

手動録音では、[録音 / レッスン] のボタン操作により、マイク・ラインイン、ＡＭ・ＦＭ ラジオ放送を簡単に録音することができます。
また、予約録音では、開始・終了時刻と期間を指定し、マイク・ラインイン、ＡＭ・ＦＭ ラジオ放送を録音することができます。

予約が設定されている状態で電源を切ると、赤色 LED が点滅して予約があることを知らせます。

	手動録音	予約録音
保管フォルダ	AM/FM/MIC/LINE フォルダ	TIMERRECフォルダ
録音先	内蔵メモリまたは 外部メモリカード	内蔵メモリまたは 外部メモリカード
録音元	AM/FMラジオ放送 MIC入力 LINE入力	AM/FMラジオ放送 MIC入力 LINE入力
録音ファイル 再生時のモード	MUSIC モード	TMモード

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

注意事項

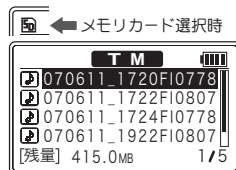
- ファイル番号は自動的にナンバリングされます。
- 録音できるファイル数は 2000 個までです。
  ただし、1 フォルダ内に録音できるファイル数は 255 個です。

関連事項

- 一般操作／モード選択操作（P.25）
- 録音操作／メモリ選択操作（P.36）
- 設定操作／録音設定操作（P.69）
- 録音操作／手動録音操作（P.37）
- 録音操作／予約録音操作（P.42）
- 再生操作／再生スタイル選択操作（P.43）
- 用語解説／ファイルの名前（P.123）

概要解説

録音先には、内蔵メモリと外部メモリカードを選択することができます。

予約録音する場合は、予約設定で録音先メモリを選択することができます。

操作条件

以下の場合は、メモリ選択操作は行えません。

- メモリカードが装着されていないとき
- 録音中
- 録音一時停止中
- ファイル再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [A-B] を押し、録音するメモリを選択します。

内蔵メモリとメモリカードが交互に切り替ります。
メモリカードを選択した場合は、画面に「 」が表示されます。

メモリカードが装着されていない場合は、「カードがありません」と表示されます。

注意事項

- 録音中にメモリが不足した場合は、画面に「メモリが一杯です」と表示され、録音を停止します。
  録音中にメモリが不足しないように、録音前に必ずメモリ残量を確認してください。
- メモリが不足した場合は、不要なファイルを削除してください。

関連事項

- 設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定 （P.51）
- 設定操作／システム設定操作／システム情報 （P.68）
- ファイル操作／ファイル編集操作／ファイル削除 （P.97）

ラジオの録音

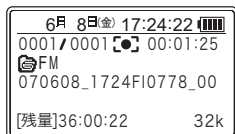
概要解説

受信している AM ／ FM ラジオを録音します。

6月 8日(金) 17:24:22
0001/0001 00:01:25
FM
070608_1724FI0778_00
[残量]36:00:22 32k

本機で録音したファイルは MP3 ファイルとなります。

AM ラジオを録音したファイルは AMフォルダに、FMラジオを録音したファイルはFMフォルダに保管されます。

AM ／ FM フォルダは、再生スタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択することができます。

操作条件

以下の場合は、ラジオの録音操作は行えません。

・TM/MUSIC モード時
・録音中
・録音一時停止中
・その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード]を押してAMまたはFMモードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。

3. [録音 / レッスン] を押します。

赤色 LED が点灯し、録音を開始します。
画面には、ファイル番号・録音動作表示「 」・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

4. 録音を停止する場合は、再度[録音/レッスン]を押します。

録音中にスリープタイマー設定で、録音を停止させることもできます。

注意事項

・録音開始から 5 秒間は、録音を停止できません。

・AM ／ FM ラジオを録音するときは、本機の LINE/MIC 端子（外部入力端子）にオーディオケーブルが接続されていないことを確認してください。
オーディオケーブルが接続されていると、ノイズの原因となります。

・受信状態が悪いと、きれいに録音することができません。
また、デジタルノイズが混入する場合もあります。
できるだけ良好な受信状態にして録音してください。

関連事項

・録音操作／録音操作（P.34）

・録音操作／メモリ選択操作（P.36）

・再生操作／再生スタイル選択操作（P.43）

・設定操作／システム設定操作／スリープタイマー（P.63）

マイク音源の録音

概要解説

本機の内蔵マイクまたは市販のマイクを接続して音声などを録音します。

6月 8日(金) 17:24:22
0001/0001 00:01:25
MIC
070608_1724MI_00001.
[残量]36:00:22 32k

本機で録音したファイルは MP3 ファイルとなります。

市販のマイクで録音する場合は、録音設定のマイク / ラインの設定を「マイク（モノラル）」または「マイク（ステレオ）」に設定します。

内蔵マイクまたは市販のマイクで録音されたファイルは、MIC フォルダに保管されます。

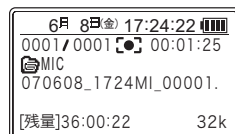
MIC フォルダは、再生スタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択できます。

操作条件

以下の場合は、マイク音源の録音操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- その他設定操作中

操作手順 内蔵マイクで録音する場合

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード]を押してTMまたはMUSICモードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。

3. [録音 / レッスン] を押します。

赤色 LED が点灯し、録音を開始します。
画面には、ファイル番号・録音動作表示「」・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

4. 録音を停止する場合は、再度[録音/レッスン]を押します。

録音中にスリープタイマー設定で、録音を停止させることもできます。

操作手順 市販のマイクで録音する場合

1. マイク / ライン画面で、「マイク（モノラル）」または「マイク（ステレオ）」を設定します。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

録音設定画面
AMラジオ
FMラジオ
ライン入力
マイク入力
マイク/ライン
シンクロ録音

マイク/ライン画面
6月 8日(金) 17:24:22
マイク(モノラル)
マイク(ステレオ)
ライン
[選択:▲▼][決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. [メニュー] を押し、トップ画面に戻ります。

3. 本機に市販のマイクを接続します。

本機の左側面にあるLINE/MIC端子（外部入力端子）にマイクを接続します。

4. ［録音 / レッスン］を押します。

赤色LEDが点灯し、録音を開始します。
画面には、ファイル番号・録音動作表示「[●]」・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

5. 録音を停止する場合は、再度[録音/レッスン]を押します。

録音中にスリープタイマー設定で、録音を停止させることもできます。

注意事項

- 録音開始から 5 秒間は、録音を停止できません。
- 内蔵マイクでの録音中に、LINE/MIC 端子（外部入力端子）へオーディオケーブルを接続した場合、その時点で録音が終了します。
- マイク録音中に［モード］を長押しすると、マイクボリューム「上、中、下」の画面が表示され、感度の切り替えができます。
  初期設定は「中」になっていますので、録音音量が小さいときは「上」を大きいときは「下」を選択してください。
- 市販のマイクは、プラグが 3.5Φ タイプのエレクトレットコンデンサマイクをご使用ください。
  ダイナミックマイクは使用できません。
- 本機の LINE/MIC 端子はプラグインパワー対応です。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 録音操作／録音操作（P.34）
- 設定操作／録音設定操作／マイク / ライン（P.74）
- 再生操作／再生スタイル選択操作（P.43）
- 設定操作／システム設定操作／スリープタイマー（P.63）

外部音源の録音

概要解説

本機とオーディオ機器を市販のオーディオケーブルで接続して、オーディオ機器の音源を録音します。

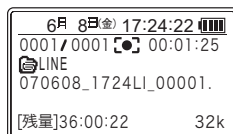
オーディオ機器から録音したファイルは、LINE フォルダに保管されます。

LINE フォルダは、プレイスタイルで「フォルダプレイ」を選択すると、表示および選択できます。

また、シンクロ録音機能を設定すると、オーディオ機器からの入力信号を検知して自動録音することができます。

操作条件

以下の場合は、外部音源の録音操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. マイク / ライン画面で、「ライン」を設定します。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

録音設定画面
AMラジオ
FMラジオ
ライン入力
マイク入力
マイク/ライン
シンクロ録音

マイク/ライン画面
6月 8日(金) 17:24:22
マイク(モノラル)
マイク(ステレオ)
ライン
[選択:▲▼][決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作 (P. 27)

2. [メニュー] を押し、トップ画面に戻ります。

3. 本機とオーディオ機器をオーディオケーブルで接続します。

本機の左側面にあるLINE/MIC 端子(外部入力端子)とオーディオ機器のヘッドホン端子を市販のオーディオケーブルで接続します。

4. [録音 / レッスン] を押します。

赤色 LED が点灯し、録音を開始します。
画面には、ファイル番号・録音動作表示「[●]」・録音経過時間・ファイル名が表示されます。

5. オーディオ機器の再生ボタンを押します。

オーディオ機器から再生された音源が本機に録音されます。
録音レベルはオーディオ機器のボリュームで調整してください。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

6. 録音を停止する場合は、再度[録音/レッスン]を押します。

録音中にスリープタイマー設定で、録音を停止させることもできます。

注意事項

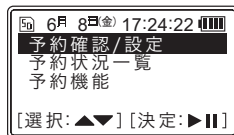
- 録音開始から 5 秒間は、録音を停止できません。
- ライン録音をする場合は、市販のオーディオケーブルを使用してください。
- オーディオ機器の操作については、オーディオ機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 事前に録音テストを行い、適切なレベルで録音されるようにオーディオ機器のボリュームを調節してください。
- オーディオ機器からの録音中に本機からオーディオケーブルを外した場合、その時点で録音は終了します。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 録音操作／録音操作（P.34）
- 設定操作／録音設定操作／シンクロ録音（P.75）
- 設定操作／録音設定操作／マイク / ライン（P.74）
- 再生操作／再生スタイル選択操作（P.43）
- 設定操作／システム設定操作／スリープタイマー（P.63）

概要解説

予約を設定すると、自動的に録音を開始します。

録音元を AM ラジオ、FM ラジオ、MIC 入力、LINE 入力から選択し、開始・終了時刻を設定します。

予約が設定されている状態で電源を切ると、赤色 LED が点滅して予約があることを知らせます。

操作条件

以下の場合は、予約録音操作は行えません。

- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル一時停止中
- 録音中
- 録音一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

参照 **設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定（P.51）**

注意事項

- 予約設定の前に、本機の日付と時刻が正確に設定されていることを確認してください。
- AM ラジオの録音中は、画面のノイズが録音されないように画面表示を OFF にしてください。
- 予約録音中のモニタ音を聞きたい場合は、ホールド機能を OFF にしてください。
- 予約の開始時刻と終了時刻が同じ時刻の場合など、有効な予約時刻が設定されていないと、画面に「終了時刻が無効です」と表示されます。
  このとき、予約を保存することはできません。

関連事項

- 設定操作／システム設定操作／カレンダー設定（P.58）
- 設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定（P.51）
- 設定操作／画面設定操作／ AM 画面表示（P.91）
- 一般操作／誤動作防止操作（ホールド機能）（P.26）

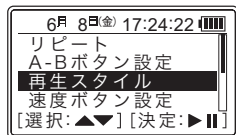
再生スタイル選択操作

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

概要解説

ファイルを再生する際の再生方法を選択します。

再生スタイルには以下の4つのスタイルがあります。

6月 8日(金) 17:24:22
リピート
A-Bボタン設定
再生スタイル
速度ボタン設定
[選択:▲▼][決定:▶II]

再生スタイル	内　容
ノーマルプレイ	すべてのファイルが順番に選択でき、フォルダに関係なく再生することができます。 TMモード 本機で予約録音したファイルを再生できます。 MUSICモード 本機で手動録音したファイルおよびパソコンからダウンロードしたファイルを再生できます。
フォルダプレイ	TMモード 予約01～20フォルダ内のファイルを再生できます。予約01～20フォルダには予約録音されたファイルが保管されます。 MUSICモード AM／FM／MIC／LINEフォルダおよびパソコンで任意に作成したフォルダ内のファイルを再生できます。 ・AMフォルダにはAMラジオを録音したファイルが保管されます。 ・FMフォルダにはFMラジオを録音したファイルが保管されます。 ・MICフォルダには内蔵マイクおよび市販のマイクで録音したファイルが保管されます。 ・LINEフォルダにはライン入力で録音したファイルが保管されます。
お気に入りプレイ（★）	お気に入りに設定したファイルのみを再生できます。 TM、MUSICモードで再生できます。
しおりプレイ（🔖）	しおりを設定したファイルのみを再生できます。 TM、MUSICモードで再生できます。

操作条件

以下の場合は、再生スタイル選択操作は行えません。

- AM/FMモード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

参照 **設定操作／再生設定操作／再生スタイル（P.86）**

参照 **ファイル操作／ファイル編集操作／**
マーク（しおり、お気に入り、ファイル保護）（P.101）

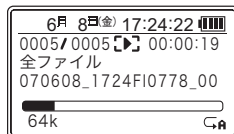
注意事項

- 工場出荷時設定はノーマルプレイに設定されています。

関連事項

- 用語解説／再生スタイルとは（P.121）
- 設定操作／再生設定操作／再生スタイル（P.86）
- ファイル操作／ファイル編集操作／
  マーク（しおり、お気に入り、ファイル保護）（P.101）

概要解説

手動録音、または予約録音したファイル、パソコンから転送したファイルの再生・停止操作を行います。

操作条件

以下の場合は、再生・停止操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード] を押して「TM」または「MUSIC」モードを選択します。

[モード] を押すごとに、TM ⇒ AM ⇒ FM ⇒ MUSIC ⇒ TM の順に切り替わります。
ファイルのリストが表示されます。

リストが表示されていないときは、[戻る] を押します。

フォルダプレイ、お気に入りプレイ、しおりプレイの場合は、フォルダのリストも表示されます。

3. [▲]、[▼]を押して再生するファイルを選択します。

フォルダプレイの場合は、[▶||] または [▶▷] を押してフォルダを開き、[▲]、[▼] を押してファイルを選択してください。

開いたフォルダを閉じるには [◁◀] を押します。

4. [▶||] を押します。

再生を開始します。

5. 一時停止する場合は、もう一度 [▶||] を押します。

再生を一時停止します。動作表示が「 」になります。

[戻る] を押すと停止状態となり、ファイルのリスト表示に戻ります。

一時停止中に [▶||] を押すと、続きを聞くことができます。また、一時停止中に電源を切った場合でも、次に電源を入れたときは、電源を切ったときの位置を記憶しています。[▶||] を押して続きを聞くことができます。

注意事項

- 予約録音したファイルを再生する場合は「TM」モードを選択します。その他のファイルを再生する場合は「MUSIC」モードを選択します。
- 本機の再生・停止操作は、一般の IC プレイヤーの一時停止機能（ポーズ機能）と同様の動作になります。

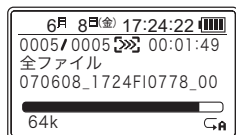
関連事項

- 再生操作／再生操作（P.43）

早送り・早戻し操作

概要解説

ファイルを早送り・早戻しする操作です。

早送り・早戻しには 3 倍速、10 倍速、100 倍速、500 倍速があり、[<◀]、[▶>] を押して速度を選択できます。

3～10倍速では、再生しながら早送り・早戻しができます。

ファイルの開始・終了位置まで早送り・早戻しすると停止します。

操作条件

以下の場合は、早送り・早戻し操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. ファイルを再生します。

参照 再生・停止操作（P. 44）

2. ファイルを早送りする場合は［▶>］を押します。

［▶>］を押すごとに早送りの速度が上がります。

⇨ ⇨ ⇨

早送り中に［▶||］を押すと早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

3. ファイルを早戻しする場合は［<◀］を押します。

［<◀］を押すごとに早戻しの速度が上がります。

⇨ ⇨ ⇨

早戻し中に［▶||］を押すと早戻しが止まり、通常の再生に戻ります。

注意事項

- 100 倍速と 500 倍速では、再生しながらの早送り・早戻しはできません。

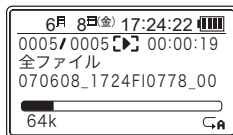
関連事項

- 再生操作／再生・停止操作（P.44）
- 用語解説／ファイルとは（P.122）

スキップ操作

概要解説

再生中のファイルをスキップします。

再生中ファイルの先頭のほか、前後ファイルの先頭へスキップすることができます。

操作条件

以下の場合は、スキップ操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. ファイルを再生します。

参照 再生・停止操作（P. 44）

2. 再生中に［▲］、［▼］を押します。

再生中に［▲］を押すと再生時間が 5 秒未満の場合、前のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

再生時間が 5 秒以上の場合、再生中のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

再生中に［▼］を押すと次のファイルの先頭にスキップし、再生を開始します。

3. 再生中に［▲］、［▼］を長押しします。

再生中に［▲］を長押しすると前のファイルへ連続スキップし、ボタンを離した時点で表示されているファイルの再生を開始します。

再生中に［▼］を長押しすると次のファイルへ連続スキップし、ボタンを離した時点で表示されているファイルの再生を開始します。

関連事項

・再生操作／再生・停止操作（P.44）

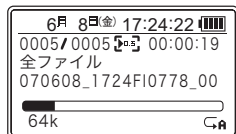
再生速度変更操作

概要解説

ファイルの再生中に再生速度を変更します。

変更できる再生速度は再生設定／速度ボタン設定で決定します。選択できる再生速度は以下のとおりです。

：0.5 倍速
：0.7 倍速
：1.3 倍速
：1.5 倍速

再生設定／速度再生方法の設定により、再生速度を変更する対象ファイルを「1 ファイル」、「継続」から選択することができます。

操作条件

以下の場合は、再生速度変更操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. ファイルを再生します。

参照 再生・停止操作（P. 44）

2. 再生中に［速度］を押します。

再生速度が切り替わります。

変更した再生速度は、再生が終了すると解除され、標準速度に戻ります。

また、一時停止中に［▶||］を押すと、変更した再生速度で再開します。

3. ［戻る］を押します。

標準速度に戻ります。

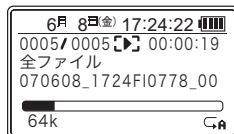
注意事項

- この機能は、MP3 形式のファイルでのみ動作します。ただし、VBR には対応していません。
- この機能を使用中は、モノラルになります。

関連事項

- 再生操作／再生・停止操作（P.44）
- 再生操作／リピート操作（P.48）
- 設定操作／再生設定操作／速度ボタン設定（P.87）
- 設定操作／再生設定操作／速度再生方法（P.89）
- 用語解説／ファイルとは（P.122）

概要解説

リピート操作には、ファイル単位の再生を繰り返す「リピート機能」と指定した区間の再生を繰り返す「区間リピート機能」があります。

ファイル再生時には、リピート機能のいずれかの方法が動作しています。

リピート機能には、以下の 5 つのリピート方法があります。

リピート	リピート方法	アイコン
ノーマル	すべてのファイルをファイル番号順に再生して停止します。	A
1曲ノーマル	1ファイルのみを再生して停止します。	1
1曲リピート	1ファイルのみをリピート再生します。	1
全曲リピート	すべてのファイルをファイル番号順にリピート再生します。	A
ランダム	すべてのファイルをランダムにリピート再生します。	R

区間リピート機能には、以下の 2 つのリピート方法があります。

区間リピート機能	リピート方法
A-B間リピート	再生中に［A-B］を押してリピート区間（A-B間）を設定すると、設定した区間（A-B間）の再生を繰り返すことができます。
ワンタッチリピート	再生中に［A-B］を押した位置から設定したリピート時間（秒数）分戻った位置からの再生を繰り返すことができます。

操作条件

以下の場合は、リピート操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中
・再生速度変更操作中

操作手順 **リピート機能を設定する場合**

1. ファイルを再生します。

参照 再生・停止操作（P. 44）

再生当初は、再生設定操作／リピートで設定されたリピート機能が動作しています。

参照 設定操作／再生設定操作／リピート （P. 84）

2. 再生または一時停止中に［A-B］を長押しします。

長押しするたびにリピート機能が切り替り、画面にアイコンが表示されます。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

操作手順 **区間リピート機能／A-B間リピートを設定する場合**

1. 再生設定／ A-B ボタン設定で「A-B 間リピート」を選択します。

参照 設定操作／再生設定操作／ A-B ボタン設定（P. 85）

2. ファイルを再生します。

参照 再生・停止操作（P. 44）

3. 再生中に［A-B］を押してリピート開始ポイントを決定します。

リピート区間の開始ポイント A が設定されます。
画面に「A_　」と表示され、リピート区間設定中であることを示します。

4. リピート終了ポイントで［A-B］を押します。

リピート区間の終了ポイント B が設定されます。
画面に「A_B」と表示され、設定した A-B 間のリピート再生を開始します。
リピート再生中に［▶‖］を押すとリピート再生を停止し、再度［▶‖］を押すとリピート再生を再開します。

リピート再生を解除するには、再度［A-B］を押します。

リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

操作手順 **区間リピート機能／ワンタッチリピートを設定する場合**

1. 再生設定／ A-B ボタン設定で「ワンタッチリピート」を選択します。

参照 設定操作／再生設定操作／ A-B ボタン設定（P. 85）

2. ファイルを再生します。

参照 再生・停止操作（P. 44）

3. 再生中に［A-B］を押します。

画面に「A_B」と表示されます。［A-B］を押した位置から設定したリピート時間（秒数）分戻った位置からのリピート再生を開始します。
リピート再生中に［▶‖］を押すとリピート再生を停止し、再度［▶‖］を押すとリピート再生を再開します。

リピート再生を解除するには、再度［A-B］を押します。

リピート再生が解除され、通常の再生に戻ります。

関連事項

・再生操作／再生・停止操作（P.44）
・設定操作／再生設定操作／ A-B ボタン設定（P.85）

概要解説

予約を設定すると、自動的に再生を開始します。

再生元を TM モード、AM モード、FM モード、MUSIC モードから選択します。開始・終了時刻を設定します。

TM モードまたは MUSIC モードを選択した場合は、再生するファイルを選択します。

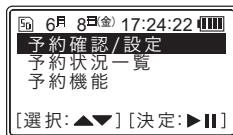
AM モードまたは FM モードを選択した場合は、放送局をプリセットから選択します。

また、[<◀]、[▶>] を押して、周波数を手動で選択することもできます。

予約が設定されている状態で電源を切ると、赤色 LED が 3 回点滅して予約があることを知らせます。

操作条件

以下の場合は、予約再生操作は行えません。

- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル一時停止中
- 録音中
- 録音一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

注意事項

- 予約設定の前に、本機の日付と時刻が正確に設定されていることを確認してください。
- 予約の開始時刻と終了時刻が同じ時刻の場合など、有効な予約時刻が設定されていないと、画面に「終了時刻が無効です」と表示されます。
  このとき、予約を保存することはできません。
- 使用中に赤色 LED が常に点滅している場合は、次に動作する予約が残りのメモリに入らないことを示しています。

関連事項

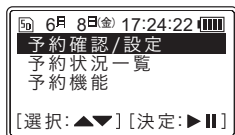
- 設定操作／システム設定操作／カレンダー設定（P.58）
- 設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定（P.51）
- 一般操作／誤動作防止操作（ホールド機能）（P.26）

予約確認 / 設定

概要解説

自動的に録音・再生を開始するための各種項目を設定します。

また、設定した予約内容を確認します。

予約が設定されている状態で電源を切ると、赤色 LED が点滅して予約があることを知らせます。

操作条件

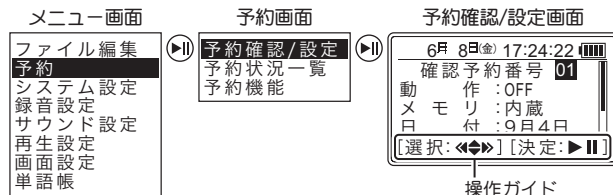
以下の場合は、予約確認 / 設定操作は行えません。

・TM/MUSIC モード時のファイル再生中
・TM/MUSIC モード時のファイル一時停止中
・その他設定操作中

操作手順　**予約を設定する場合**

1. 予約確認 / 設定画面を表示させます。

メニュー画面

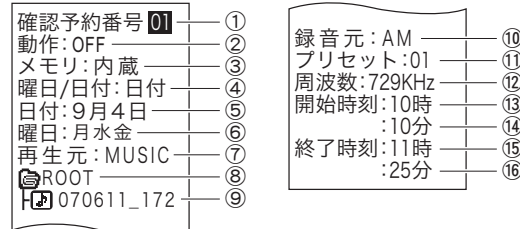
予約画面

予約確認/設定画面

操作ガイド

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. 各項目を設定します。

「概要解説」の設定項目一覧と画面下部に表示される操作ガイドを参照し、各項目を設定してください。

予約確認/設定画面

予約の設定項目は以下のとおりです。

設定項目	選択項目	内　　容
①予約番号	01～20	予約番号を01～20から選択します。②動作を設定する場合は、番号選択後、[▶II]を押します。
②動作	OFF	予約動作をOFFにします。
	録音	予約録音します。
	再生	予約再生します。(ラジオの受信を含む)
③INT/CARD	内蔵	内蔵メモリを使用します。
	カード	メモリカードを使用します。メモリカードが装着されていないと「カードがありません」と表示され、選択することはできません。
④曜日/日付	曜日	予約を曜日で設定します。
	日付	予約を日付で設定します。

設定項目	選択項目	内　　容
⇒④曜日/日付で「曜日」を選択した場合		
⑤曜日	（任意の曜日）	選択した曜日に予約を動作させます。
	曜日指定 月 火 水 木 金 土 日	[<◀]、[▶>]を押して曜日を選択し、[▼]を押して✓(チェックマーク)を付けます。[▼]を押すたびにチェックマークの有無が入れ替わります。[▶Ⅱ]を押すと予約設定画面に戻ります。
⇒④曜日/日付で「日付」を選択した場合		
⑥日付	月／日	設定した日付に予約を動作させます。
⇒②動作で「再生」を選択した場合		
⑦再生元	AM	AMラジオを予約再生します。
	FM	FMラジオを予約再生します。
	TM ／ MUSIC	MUSIC モードのファイルをタイマー再生します。
⇒⑦再生元で「TM」または「MUSIC」を選択した場合		
⑧FOLDER	フォルダ	再生するファイルが入っているフォルダを［<◀]、[▶>］で選択します。フォルダに階層があっても [<◀]、[▶>］を押していくと順に表示されます。フォルダがない時は「NO-FOLDER」が表示されます。

設定項目	選択項目	内　　容
⇒⑦再生元で「TM」または「MUSIC」を選択した場合		
⑨FILE	ファイル	再生するファイルを［<◀]、[▶>］で選択します。 FOLDER で選択したフォルダ内のファイルが順次表示されます。
⇒②動作で「録音」を選択した場合		
⑩録音元	AM	AMラジオを予約録音します。
	FM	FMラジオを予約録音します。
	MIC	マイクで予約録音します。 予約録音動作時に LINE/MIC 端子（外部入力端子）にマイクが接続されているとマイクから録音され、接続されていないと内蔵マイクで録音されます。
	LINE	ライン入力の音源を予約録音します。 予約録音動作時にLINE/MIC端子にケーブルが接続されていなくても録音は開始されます。
⇒⑦再生元または⑩録音元で「AM」または「FM」を選択した場合		
⑪プリセットNo	1～10	ラジオのプリセット No. を選択します。選択したプリセット No.の周波数が表示されます。
⑫周波数	KHz または MHz	周波数を設定します。
⑬開始　時	00～23	予約動作の開始時刻（時）を設定します。
⑭開始　分	00～59	予約動作の開始時刻（分）を設定します。
⑮終了　時	00～23	予約動作の終了時刻（時）を設定します。
⑯終了　分	00～59	予約動作の終了時刻（分）を設定します。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

3. [▶‖] を押します。

保存確認画面が表示されます。

設定した内容を保存しない場合は、[戻る] または [メニュー] を押します。保存せず終了画面で [<◀] を押して「はい」を選択し、[▶‖] を押します。

4. [<◀] を押して「はい」を選択し、[▶‖] を押します。

予約が設定されます。

[メニュー] を押すと各モードのトップ画面に戻ります。

一度設定した予約を変更する場合は、上書きしてください。

一度設定した予約を無効にする場合は、「動作」の項目を「OFF」に設定してください。

操作手順 予約を確認する場合

1. 予約確認 / 設定画面を表示させます。

メニュー画面

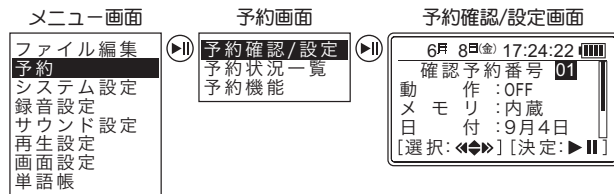
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

▶‖

予約画面

予約確認/設定
予約状況一覧
予約機能

▶‖

予約確認/設定画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. [<◀]、[▶>] を押して「確認予約番号」を選択します。

3. [▲]、[▼] を押して予約内容を確認します。

[メニュー] を押すと各モードのトップ画面に戻ります。

注意事項

- 予約設定操作をする前に、必ずカレンダー表示が正しいことを確認してください。
- 有効な予約時刻が設定されていない場合、「終了時刻が無効です」と表示され、予約を登録（保存）することはできません。
- 予約録音中のモニタ音を聞きたくない場合は、ホールド機能を ON にしてください。
- 予約内容を変更しても、予約を中止すると変更した予約内容は無効になります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作／カレンダー設定（P.58）
- 設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定（P.51）
- 設定操作／画面設定操作／ AM 画面表示（P.91）
- 一般操作／誤動作防止操作（ホールド機能）（P.26）

予約状況一覧

概要解説

設定した予約を 20 件まで一覧で表示します。

一覧から予約番号を選択し、[▶II] を押すと予約確認 / 設定操作を行うことができます。

操作条件

以下の場合は、予約状況一覧操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 予約状況一覧画面を表示させます。

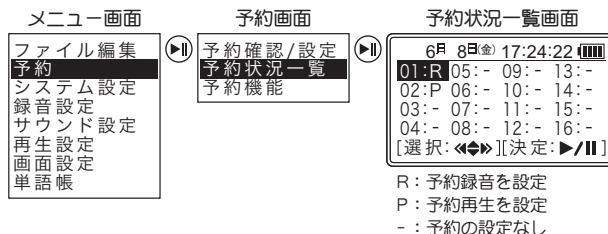
メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

▶II

予約画面
予約確認/設定
予約状況一覧
予約機能

▶II

予約状況一覧画面
6月 8日(金) 17:24:22
01:R 05:- 09:- 13:-
02:P 06:- 10:- 14:-
03:- 07:- 11:- 15:-
04:- 08:- 12:- 16:-
[選択:◀◀▲▼▶▶][決定:▶/II]

R：予約録音を設定
P：予約再生を設定
-：予約の設定なし

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. 予約内容を確認または変更する場合は、[<◀]、[▶>] を押して「確認予約番号」を選択し、[▶II] を押します。

予約確認 / 設定画面が表示されます。
予約の確認または変更操作を行ってください。

参照 予約確認 / 設定（P. 51）

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定（P.51）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

予約機能

概要解説

すべての予約設定に対して予約の ON・OFF を設定します。

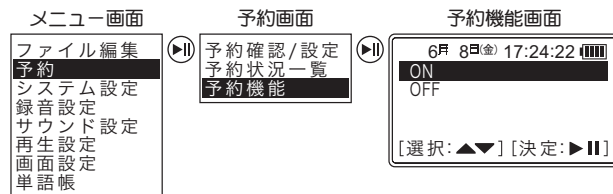
予約機能が OFF の場合、予約が設定されていても予約録音または予約再生されません。

操作条件

以下の場合は、予約機能操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 予約機能画面で「ON」または「OFF」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

予約機能の ON・OFF が設定されます。

注意事項

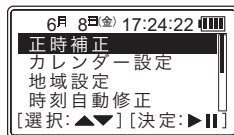
- 予約録音または予約再生を有効にする場合は、予約機能を必ず ON にしてください。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／予約設定操作／予約確認 / 設定（P.51）

概要解説

本機のシステムに関する設定操作を行います。

システム設定には次の項目があります。

設定項目	参照	設定項目	参照
正時補正	P.57	自動オフタイマー	P.64
カレンダー設定	P.58	設定値初期化	P.65
地域設定	P.59	フォーマット	P.66
時刻自動修正	P.61	システム情報	P.68
スリープタイマー	P.63		

操作条件

以下の操作時は、システム設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [メニュー] を押します。

メニュー画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して「システム設定」を選択します。

4. [▶II] を押します。

システム設定画面が表示されます。

5. 任意の各種設定操作を行います。

関連事項

- 一般操作/メニュー画面とボタン操作 (P.27)

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

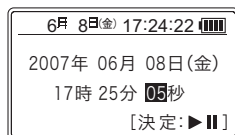
本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

正時補正

概要解説

時刻の 0 秒補正を行います。

ラジオやテレビの時報に「秒」を合わせるときに使用します。

6月 8日(金) 17:24:22
2007年 06月 08日(金)
17時 25分 05秒
[決定:▶II]

操作条件

以下の場合は、正時補正操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

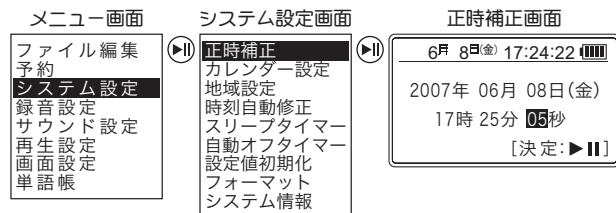
1. 正時補正画面を表示させます。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

▶II

システム設定画面
正時補正
カレンダー設定
地域設定
時刻自動修正
スリープタイマー
自動オフタイマー
設定値初期化
フォーマット
システム情報

▶II

正時補正画面
6月 8日(金) 17:24:22
2007年 06月 08日(金)
17時 25分 05秒
[決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

00 秒に補正されます。

注意事項

- 0 ～ 30 秒で［▶II］を押すと分はそのままですが、31 ～ 59 秒で［▶II］を押すと分が繰り上がります。
- 設定途中で「メニュー」を押すと、正時補正を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）

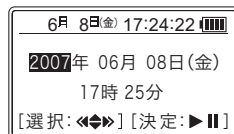
カレンダー設定

概要解説

本機の日付・時刻を設定します。購入時（工場出荷時）は設定されていません。

6月 8日(金) 17:24:22
2007年 06月 08日(金)
17時 25分
[選択: ◀▲▼▶] [決定: ▶II]

本機を使用する前には、本設定が必要です。

本機を長時間放置した場合、本設定はリセットされます。

操作条件

以下の場合は、カレンダー設定操作は行えません。

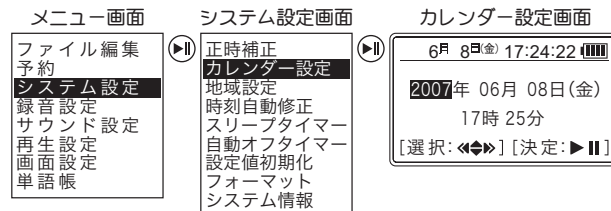
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. カレンダー設定画面で「年」、「月」、「日」、「時」、「分」を設定します。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

システム設定画面
正時補正
カレンダー設定
地域設定
時刻自動修正
スリープタイマー
自動オフタイマー
設定値初期化
フォーマット
システム情報

カレンダー設定画面
6月 8日(金) 17:24:22
2007年 06月 08日(金)
17時 25分
[選択: ◀▲▼▶] [決定: ▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. [▶II] を押します。

時刻の設定を確定した時点で 00 秒にセットされます。
曜日は自動的に設定されます。

注意事項

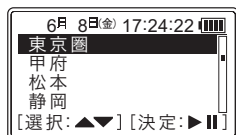
- 設定途中で「メニュー」を押すと、カレンダー設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）

地域設定

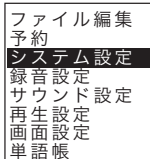
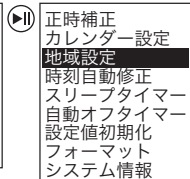
概要解説

AM ／ FM ラジオの放送局をプリセットに自動登録します。

操作条件

以下の場合は、カレンダー設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 地域設定画面で右表で確認した地域を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

設定可能な地域一覧

札　幌	奈　良
青　森	和歌山
秋　田	大阪圏
盛　岡	鳥　取
山　形	松　江
仙　台	広　島
福　島	山　口
宇都宮	高松／岡山
水　戸	徳　島
前　橋	松　山
東京圏	高　知
甲　府	福　岡
松　本	北九州
静　岡	佐　賀
名古屋圏	長　崎
津	大　分
新　潟	熊　本
富　山	宮　崎
金　沢	鹿児島
福　井	那　覇
大　津	新幹線

2. ［▶II］を押します。

どの地域を選択しても、FM のプリセット番号 1（チャンネル 1）には、選択した地域で受信できる NHK-FM 放送局が登録されます。

選択した地域を確定し、システム設定画面に戻ります。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、地域設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
・設定操作／システム設定操作（P.56）
・選局操作／プリセット登録操作（P.33）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

時刻自動修正

概要解説

時刻自動修正を ON に設定すると、ラジオの時報を自動受信して、時刻を正確な時刻に修正します。

操作条件

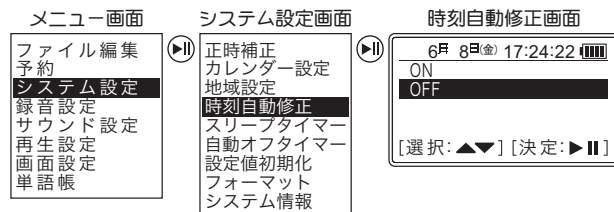
以下の場合は、時刻自動修正操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 時刻自動修正画面で「ON」または「OFF」を設定します。

メニュー画面 ▶II システム設定画面 ▶II 時刻自動修正画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ON に設定した場合は時刻自動修正画面が表示されます。

以下の手順に従って、受信可能な NHK の周波数を設定します。

2. [<◀]、[▶>] を押して、設定元を「AM」、「FM」、「Ext.」から選択します。

「Ext.」は専用の外部機器接続時に選択します。詳細については、外部機器に付属した取扱説明書を参照してください。

6月 8日(金) 17:24:22
設定元 : FM
プリセット : 1
周波数 : 82.50MHz
[選択:◀◀▲▼▶▶][決定:▶II]

3. [▼] を押して、プリセットへ移動します。

4. [<◀]、[▶>] を押して、「プリセット No.」を選択します。

NHKの周波数がプリセットに登録されていない場合は手順 6. に進み、手動で周波数を設定します。

NHK の周波数がプリセットで選択できた場合は手順 7. に進みます。

5. [▼] を押して、周波数へ移動します。

6. [<◀]、[▶>] を押して、周波数を設定します。

7. [▶II] を押します。

時刻の自動修正 ON を確定し、システム設定画面に戻ります。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、時刻自動修正を中止してトップ画面に戻ります。
- 時刻自動修正で修正できる範囲は時報の± 2 分間です。お使いになる前にカレンダー設定で 現在時刻を誤差 2 分以内になるように設定してください。
- NHK − FM を受信させる場合は、イヤホンや FM ケーブルアンテナを接続してください。
  多少のノイズであれば修正機能は働きますが、受信状況が悪くなると動作できなくなります。
- NHK のラジオが良好に受信できない場合は、誤動作を防ぐためにも時刻自動修正機能は「OFF」にしてください。
- 「Ext.」は外部機器からの自動修正を受けることができます。

時刻自動修正機能について

- 本機の内部時計はクォーツの精度を持っていますが、長期的には実際の時刻からの狂いが発生します。
  この狂いを自動で修正し、より高精度に予約録音を開始するために時刻自動修正機能を搭載しています。
- 自動修正機能は、NHK の 0 時・12 時・15 時・18 時・21 時のいずれかの時報を受信して時刻を自動的に修正します。
  ただし、地域や番組の報道内容により時報のお知らせがない場合があります。
  その場合、時刻は自動修正されません。
- 本機が動作している場合、自動修正機能は働きません。

時刻自動修正機能を正しく動作させるためには

① 本機の内部時計を分単位で正確に合わせてください。
秒の単位は多少ずれていても問題ありません。
正常な動作を確認するため実際の時刻より 10 秒程度ずらした時刻に設定することをお勧めします。
後日、10秒の誤差が補正されていれば正しく動作したことになります。

② 前ページを参考に、自動修正機能を「ON」にしてNHKの周波数を設定します。

③ FMケーブルアンテナを接続します。
（NHK－FMを受信させる場合）

④ 設定したNHKの受信状況をスピーカで確認します。
受信状況をできるだけ良好にしてください。

⑤ 本機の電源をOFFにします。
本機の動作中は自動修正機能は働きません。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

スリープタイマー

概要解説

ファイルの再生中、一時停止中、録音中、AM/FM モード時に、一定時間経過すると自動的に電源を OFF にします。

操作条件

以下の場合は、スリープタイマー設定操作は行えません。

・予約再生中
・その他設定操作中

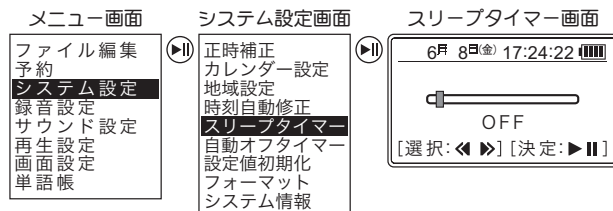
操作手順

1. スリープタイマー画面で「OFF」、「15 分」、「30 分」、「45 分」、「60 分」、「75 分」、「90 分」、「105 分」、「120 分」から設定します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

システム設定画面

正時補正
カレンダー設定
地域設定
時刻自動修正
スリープタイマー
自動オフタイマー
設定値初期化
フォーマット
システム情報

スリープタイマー画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

録音中、録音一時停止中に「メニュー」を押して、スリープタイマー画面を表示させることもできます。

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶ll］を押します。

選択した時間が設定されます。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、スリープタイマー設定操作を中止してトップ画面に戻ります。

・スリープタイマーは、一度動作するか、電源を手動で切ると解除されます。

・予約動作中は、スリープタイマーが設定されていても電源が切れることはありません。

関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
・設定操作／システム設定操作（P.56）

自動オフタイマー

概要解説

ボタン操作がない状態が一定時間続くと自動的に電源をOFFにします。

操作条件

以下の場合は、自動オフタイマー設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 自動オフタイマー画面で「OFF」、「1 分」、「3 分」、「5 分」から設定します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

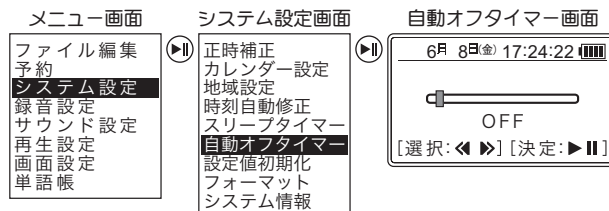
システム設定画面

正時補正
カレンダー設定
地域設定
時刻自動修正
スリープタイマー
自動オフタイマー
設定値初期化
フォーマット
システム情報

自動オフタイマー画面

6月 8日(金) 17:24:22
OFF
[選 択: ◀◀ ▶▶] [決 定: ▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

選択した時間が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、自動オフタイマーを中止してトップ画面に戻ります。
- ファイルの再生中、録音中、AM/FM モード時は、ボタン操作がなくても自動オフタイマーは機能しません。

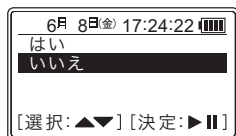
関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

設定値初期化

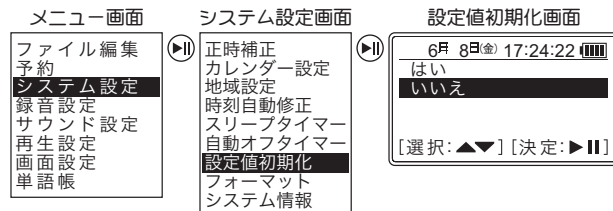
概要解説

設定項目を工場出荷時の設定（初期設定）に戻します。

操作条件

以下の場合は、設定値初期化操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 設定値初期化画面で「はい」または「いいえ」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

「はい」の場合は、設定値が初期化されます。
「いいえ」の場合は、初期化されません。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、設定値初期化を中止してトップ画面に戻ります。
- 設定値初期化をした場合、初期化する前の設定に戻すためには、もう一度設定する必要があります。
- 予約内容は初期化されません。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）

フォーマット

概要解説

内蔵メモリ・メモリカードを初期化します。

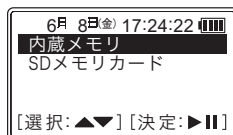
6月 8日(金) 17:24:22
内蔵メモリ
SDメモリカード
[選択:▲▼][決定:▶II]

本機で録音・削除を何度も繰り返すと、内蔵メモリやメモリカードの作業効率が落ち、正常な録音・再生ができなくなることがあります。

このような症状を未然に防ぐため、一ヶ月に一回程度、内蔵メモリ・メモリカードをフォーマットすることをお勧めします。

操作条件

以下の場合は、フォーマット操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

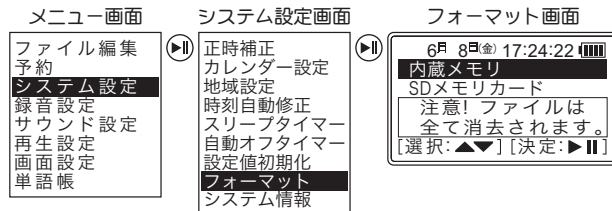
1. フォーマットを行う前には、必要なファイルをパソコンなどにアップロードし、バックアップします。

2. フォーマット画面で「内蔵メモリ」または「SD メモリカード」から、フォーマットするメモリを選択します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

システム設定画面

正時補正
カレンダー設定
地域設定
時刻自動修正
スリープタイマー
自動オフタイマー
設定値初期化
フォーマット
システム情報

フォーマット画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

3. [▶II] を押します。

フォーマット確認画面が表示されます。

4. [▲]、[▼] を押して、「はい」または「いいえ」を選択します。

5. [▶II] を押します。

「はい」の場合は、メモリがフォーマットされます。
「いいえ」の場合は、フォーマットされません。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、フォーマットを中止してトップ画面に戻ります。
- フォーマットされたメモリは復元することはできません。注意して操作してください。
- フォーマットすると、内蔵メモリまたはメモリカード内のすべてのファイルやフォルダが削除されます。
  保存したいファイルは、あらかじめパソコンにアップロードし、バックアップしてください。
- 内蔵メモリをフォーマットしても、予約の設定内容やメインメニューの設定内容は残ります。
- フォーマットをすると、単語帳の内容もすべて削除されます。プリインストールされている単語帳は付属 CD の中に収録されていますので、そちらをご覧ください。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）
- パソコン接続／パソコンでの操作（P.110）
- 用語解説／メモリカードとは（P.126）

システム情報

概要解説

現在のメモリ総量と残量、ソフトウェアのバージョンを表示します。

6月 8日(金) 17:24:22
VER 1.00_XXX
内蔵総量: 495.8 MB
内蔵残量: 490.5 MB
SD総量: 128.0 MB
SD残量: 100.5 MB

操作条件

以下の場合は、システム情報操作は行えません。

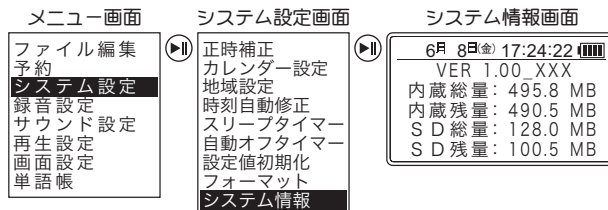
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. システム情報画面で現在のメモリ総量と残量、ソフトウェアのバージョンを確認します。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

システム設定画面
正時補正
カレンダー設定
地域設定
時刻自動修正
スリープタイマー
自動オフタイマー
設定値初期化
フォーマット
システム情報

システム情報画面
6月 8日(金) 17:24:22
VER 1.00_XXX
内蔵総量: 495.8 MB
内蔵残量: 490.5 MB
SD総量: 128.0 MB
SD残量: 100.5 MB

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

注意事項

- 確認途中で「メニュー」を押すと、システム情報を中止してトップ画面に戻ります。

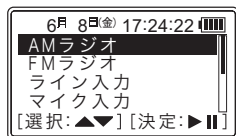
関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／システム設定操作（P.56）

録音設定操作

概要解説

本機の録音に関する設定操作を行います。

録音設定には次の項目があります。

設定項目	参照	設定項目	参照
AMラジオ（録音ビットレート設定）	P.70	マイク入力（録音ビットレート設定）	P.73
FMラジオ（録音ビットレート設定）	P.71	マイク/ライン	P.74
ライン入力（録音ビットレート設定）	P.72	シンクロ録音	P.75～

操作条件

以下の操作時は、録音設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [メニュー] を押します。

メニュー画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して「録音設定」を選択します。

4. [▶II] を押します。

録音設定画面が表示されます。

5. 任意の各種設定操作を行います。

関連事項

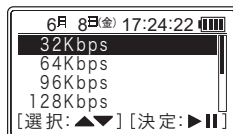
- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

AM ラジオ（録音ビットレート設定）

概要解説

AM ラジオの録音ビットレート（録音音質）を設定します。

初期設定は 32Kbps に設定されています。

操作条件

以下の場合は、AM ラジオの録音ビットレート設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. AM ラジオ画面で録音ビットレートを「32Kbps」、「64Kbps」、「96Kbps」、「128Kbps」、「192Kbps」、「256Kbps」から設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

選択したビットレート値が設定されます。

3. ［メニュー］を押し、トップ画面に戻ります。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、録音設定を中止してトップ画面に戻ります。
- ビットレートの値が高いほど高音質になりますが、録音に使用されるメモリ量は増加します。
- ＡＭ ラジオの録音はモノラルのみとなります。

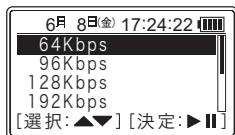
関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／録音設定操作（P.69）

FM ラジオ（録音ビットレート設定）

概要解説

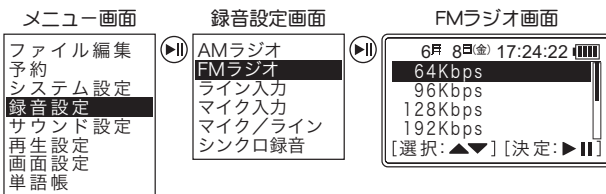
FM ラジオの録音ビットレート（録音音質）を設定します。

初期設定は 64Kbps に設定されています。

操作条件

以下の場合は、FM ラジオの録音ビットレート設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. FM ラジオ画面で録音ビットレートを「32Kbps」、「64Kbps」、「96Kbps」、「128Kbps」、「192Kbps」、「256Kbps」から設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

選択したビットレート値が設定されます。

3. ［メニュー］を押し、トップ画面に戻ります。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、録音設定を中止してトップ画面に戻ります。
- ビットレートの値が高いほど高音質になりますが、録音に使用されるメモリ量は増加します。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／録音設定操作（P.69）

ライン入力（録音ビットレート設定）

概要解説

ライン入力の録音ビットレート（録音音質）を設定します。

初期設定は 96Kbps に設定されています。

操作条件

以下の場合は、ライン入力の録音ビットレート設定操作は行えません。

- ・録音中
- ・録音一時停止中
- ・予約再生中
- ・TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- ・TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- ・その他設定操作中

操作手順

1. ライン入力画面で録音ビットレートを「32Kbps」、「64Kbps」、「96Kbps」、「128Kbps」、「192Kbps」、「256Kbps」から設定します。

メニュー画面　録音設定画面　ライン入力画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

選択したビットレート値が設定されます。

3. ［メニュー］を押し、トップ画面に戻ります。

注意事項

- ・設定途中で「メニュー」を押すと、録音設定を中止してトップ画面に戻ります。
- ・ビットレートの値が高いほど高音質になりますが、録音に使用されるメモリ量は増加します。

関連事項

- ・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- ・設定操作／録音設定操作（P.69）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

マイク入力（録音ビットレート設定）

概要解説

内蔵マイクの録音ビットレート（録音音質）を設定します。

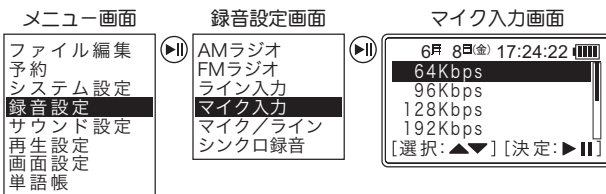
初期設定は 32Kbps に設定されています。

操作条件

以下の場合は、マイク入力の録音ビットレート設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. マイク入力画面で録音ビットレートを「32Kbps」、「64Kbps」、「96Kbps」、「128Kbps」、「192Kbps」、「256Kbps」から設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。
選択したビットレート値が設定されます。

3. ［メニュー］を押し、トップ画面に戻ります。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、録音設定を中止してトップ画面に戻ります。
- ビットレートの値が高いほど高音質になりますが、録音に使用されるメモリ量は増加します。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／録音設定操作（P.69）

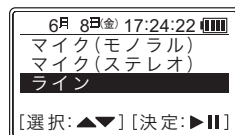
マイク / ライン

概要解説

ライン入力の種別を設定します。

市販のマイクを接続して録音する場合は、「マイク（モノラル）」または「マイク（ステレオ）」に設定します。

市販のオーディオケーブルを接続し録音する場合は、「ライン」に設定します。

初期設定は「ライン」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、マイク / ライン設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. マイク / ライン画面で「マイク（モノラル）」、「マイク（ステレオ）」、「ライン」から設定します。

メニュー画面

録音設定画面

マイク／ライン画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. [▶II] を押します。
選択したライン入力の種別が設定されます。

3. [メニュー] を押し、トップ画面に戻ります。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、録音設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／録音設定操作（P.69）

シンクロ録音

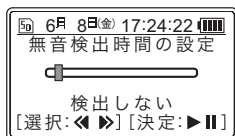
概要解説

シンクロ録音時の無音検出時間を設定します。

シンクロ録音とは、音楽 CD などを録音する場合、曲と曲の間の無音部分を検出して曲を区切る録音方法です。

連続して録音しても 1 曲が 1 つのファイルとして録音されるため、再生時の頭出しなどに便利です。

無音検出時間は、「検出しない」、「1 秒」、「2 秒」、「3 秒」、「4 秒」、「5 秒」から選択します。

初期設定は「検出しない」に設定されています。

無音検出時間の設定と録音内容の関係は次のとおりです。

無音検出時間	録音内容
検出しない	[録音/レッスン]を押して手動録音を開始します。 録音中［▲］を押すと、その時点でファイルを終了して区切り、引き続き別の新しいファイルとして録音を継続します。
1～5 秒	[録音/レッスン］を押した後、オーディオ機器からの入力信号を検知すると自動で録音を開始します。 曲間の無音部分を検出して曲を区切りながら自動で複数の曲を録音します。 設定した無音検出時間を越える無音を検出すると自動的に録音を停止します。

操作条件

以下の場合は、シンクロ録音設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. シンクロ録音画面で「検出しない」、「1 秒」、「2 秒」、「3 秒」、「4 秒」、「5 秒」から設定します。

メニュー画面

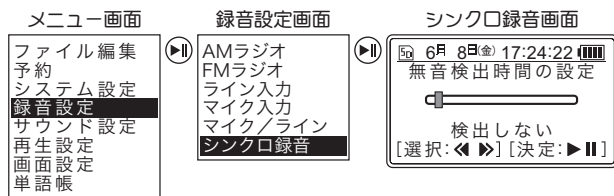
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

▶II

録音設定画面

AMラジオ
FMラジオ
ライン入力
マイク入力
マイク／ライン
シンクロ録音

▶II

シンクロ録音画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

選択した無音検出時間が設定されます。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、録音設定を中止してトップ画面に戻ります。

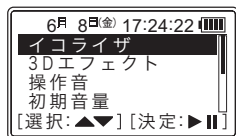
関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
・設定操作／録音設定操作（P.69）
・録音操作／手動録音操作／外部音源の録音（P.40）

サウンド設定操作

概要解説

本機のサウンドに関する設定操作を行います。

サウンド設定には次の項目があります。

設定項目	参照	設定項目	参照
イコライザ	P.78	初期音量	P.81
3Dエフェクト	P.79	スピーカ出力設定	P.82
操作音	P.80		

ファイルの再生または一時停止中にもサウンド設定を行うことができます。

操作条件

以下の操作時は、サウンド設定操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。
設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [メニュー] を押します。
メニュー画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して「サウンド設定」を選択します。

4. [▶II] を押します。
サウンド設定画面が表示されます。

5. 任意の各種設定操作を行います。

関連事項

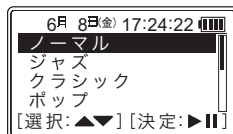
・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

イコライザ

概要解説

イコライザ（音質）機能を設定します。

再生する曲のジャンルに合せて、最適な音質にすることができます。

イコライザ機能には、以下の音質があります。

イコライザ機能	音　質
ノーマル	標準音質（音質効果はありません）
ジャズ	鮮明な音質でジャズに最適です。
クラシック	ソフトな音質でクラシックに最適です。
ポップ	メリハリのある音質でポップスに最適です。
ロック	パンチの効いた音質でロックに最適です。
ライブ	臨場感のある音質でライブに最適です。
Low-Cut	低音域帯をカットします。ラジオなどのビート音や電源ノイズを消すときに有効です。
High-Cut	高音域帯をカットします。ラジオなどの高周波ノイズを消すときに有効です。

初期設定は「ノーマル」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、イコライザ設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

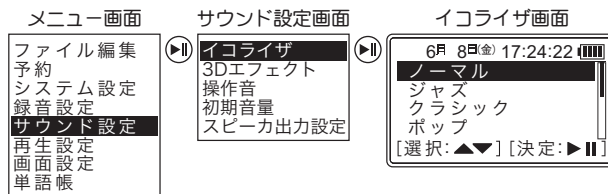
1. イコライザ画面で「ノーマル」、「ジャズ」、「クラシック」、「ポップ」、「ロック」、「ライブ」、「Low-Cut」、「High-Cut」から設定します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

サウンド設定画面

イコライザ
3Dエフェクト
操作音
初期音量
スピーカ出力設定

イコライザ画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中にイコライザを変更する場合、決定していなくても選択中の音質で再生することができます。
イコライザ設定を中止すると、元の音質で再生します。

2. ［▶II］を押します。

選択したイコライザ機能が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、サウンド設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／サウンド設定操作（P.77）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

3D エフェクト

概要解説

音に広がりを与える 3D エフェクト機能を設定します。

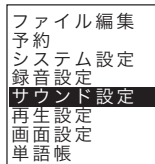
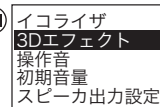
初期設定は「OFF」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、3D エフェクト設定操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中

操作手順

1. 3D エフェクト画面で「ON」または「OFF」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

「ON」または「OFF」が設定されます。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、サウンド設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

・設定操作／サウンド設定操作（P.77）

操作音

概要解説

ボタン操作による操作音を設定します。

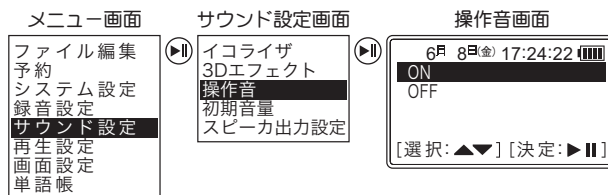
初期設定は「ON」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、3D エフェクト設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作音画面で「ON」または「OFF」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. [▶II] を押します。

「ON」または「OFF」が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、サウンド設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

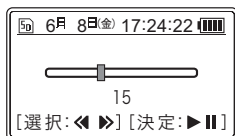
- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／サウンド設定操作（P.77）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

初期音量

概要解説

10～25レベルの間で1レベル単位で設定します。

初期設定は「15」に設定されています。

初期音量の設定以上で電源をOFFにすると、次回の電源ON時には設定値に戻ります。

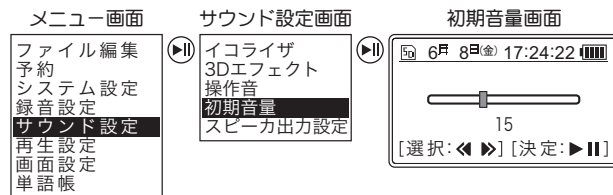
初期音量の設定以下で電源をOFFにすると、次回の電源ON時には、電源をOFFにしたときの設定値になります。

操作条件

以下の場合は、初期音量設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 初期音量画面で「10～25」レベルから設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

選択した初期音量が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、サウンド設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／サウンド設定操作（P.77）

スピーカ出力設定

概要解説

クレードルなどの外部機器に接続したときの内蔵スピーカーによる出力を設定します。

「ON」、「OFF」で設定します。

初期設定は「ON」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、スピーカ出力設定操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中

操作手順

1. スピーカ出力設定画面で「ON」、「OFF」から設定します。

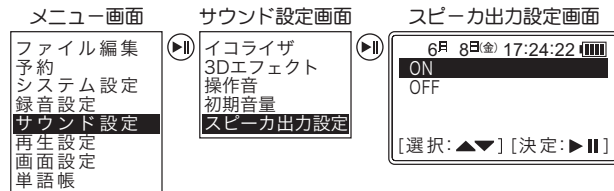
メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

▶II

サウンド設定画面

イコライザ
3Dエフェクト
操作音
初期音量
スピーカ出力設定

▶II

スピーカ出力設定画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. [▶II] を押します。

選択したスピーカ出力設定が設定されます。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、サウンド設定を中止してトップ画面に戻ります。

・クレードルにイヤホンを接続したときに、設定が「ON」の場合はスピーカの音が消えません。

・クレードルに接続したときは、スピーカの状態が表示されます。

関連事項

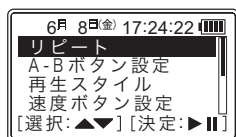
・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

・設定操作／サウンド設定操作（P.77）

再生設定操作

概要解説

本機のファイル再生に関する設定操作を行います。

再生設定には次の項目があります。

設定項目	参照	設定項目	参照
リピート	P.84	速度ボタン設定	P.87
A-Bボタン設定	P.85	速度再生方法	P.89
再生スタイル	P.86		

操作条件

以下の操作時は、再生設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [メニュー] を押します。

メニュー画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して「再生設定」を選択します。

4. [▶II] を押します。

再生設定画面が表示されます。

5. 任意の各種設定操作を行います。

関連事項

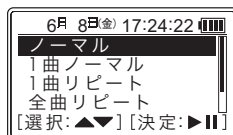
・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

リピート

概要解説

ファイル再生時のリピート機能の方法を設定します。

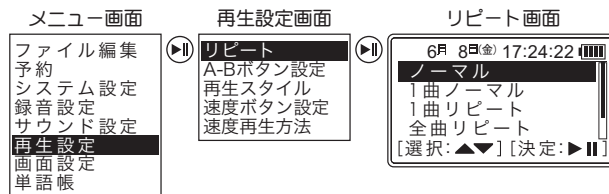
ノーマル、1 曲ノーマル、1 曲リピート、全曲リピート、ランダムから選択します。

初期設定は「ノーマル」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、リピート設定操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中

操作手順

1. リピート画面で「ノーマル」、「1 曲ノーマル」、「1 曲リピート」、「全曲リピート」、「ランダム」から設定します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

再生設定画面

リピート
A-Bボタン設定
再生スタイル
速度ボタン設定
速度再生方法

リピート画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. [▶II] を押します。

選択したリピート方法が設定されます。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、再生設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

・設定操作／再生設定操作（P.83）

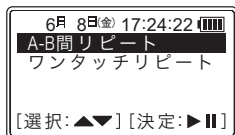
・再生操作／リピート操作（P.48）

A-B ボタン設定

概要解説

ファイル再生時の区間リピート機能の方法を設定します。

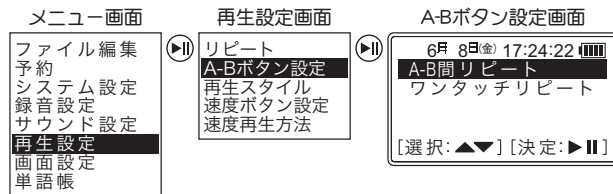
A-B 間リピートとワンタッチリピートから選択します。

初期設定は「A-B 間リピート」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、A-B ボタン設定操作は行えません。

・録音中
・録音一時停止中
・予約再生中
・その他設定操作中

操作手順 A-B 間リピート

1. A-B ボタン設定画面で「A-B 間リピート」または「ワンタッチリピート」を設定します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

再生設定画面

リピート
A-Bボタン設定
再生スタイル
速度ボタン設定
速度再生方法

A-Bボタン設定画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

選択したリピート方法が設定されます。

操作手順 ワンタッチリピート

1. 「ワンタッチリピート」を選択した場合は、リピート方法の選択後、A-B ボタンを押した時点から前に戻る時間（秒）を設定します。

1 秒、2 秒、4 秒、8 秒、16 秒から選択します。

初期設定は「2 秒」に設定されています。

注意事項

・設定途中で「メニュー」を押すと、再生設定を中止してトップ画面に戻ります。

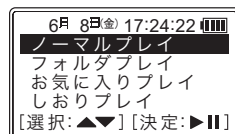
関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
・設定操作／再生設定操作（P.83）
・再生操作／リピート操作（P.48）

再生スタイル

概要解説

ファイルを再生する際の再生方法を選択します。

ノーマルプレイ、フォルダプレイ、お気に入りプレイ、しおりプレイから選択します。

初期設定は「ノーマルプレイ」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、再生スタイル設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

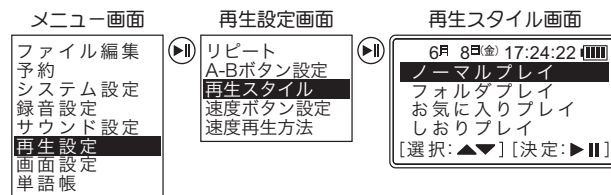
1. 再生スタイル画面で「ノーマルプレイ」、「フォルダプレイ」、「お気に入りプレイ」、「しおりプレイ」から設定します。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

▶II

再生設定画面
リピート
A-Bボタン設定
再生スタイル
速度ボタン設定
速度再生方法

▶II

再生スタイル画面
6月 8日(金) 17:24:22
ノーマルプレイ
フォルダプレイ
お気に入りプレイ
しおりプレイ
[選択:▲▼][決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

選択した再生スタイルが設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、再生設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

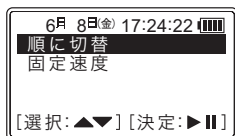
- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／再生設定操作（P.83）
- 再生操作／再生スタイル選択操作（P.43）

速度ボタン設定

概要解説

ファイル再生中、再生速度変更操作によって変更される再生速度を設定します。

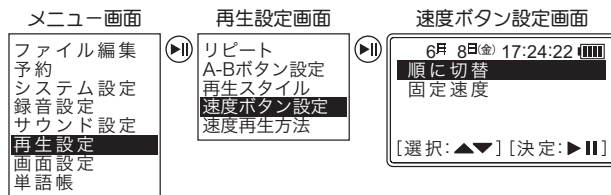
「順に切替」または「固定速度」から 0.5 倍、0.7 倍、1.3 倍、1.5 倍の速度を選択します。

初期設定は「順に切替」の「0.5 倍」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、速度ボタン設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 速度ボタン設定画面で「順に切替」または「固定速度」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. [▶II] を押します。

「順に切替」の場合は、初期速度設定画面が表示されます。

「固定速度」の場合は、固定速度設定画面が表示されます。

3. [<◀]、[▶>] を押して速度を選択し、[▶II] を押します。

「順に切替」の場合は、再生速度変更操作時の初期速度が設定されます。

「固定速度」の場合は、再生速度変更操作時のファイル再生速度が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、再生設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

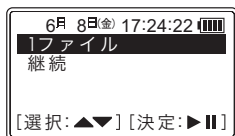
- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／再生設定操作（P.83）
- 再生操作／再生速度変更操作（P.47）

速度再生方法

概要解説

再生速度変更操作によって再生速度が変更される対象ファイルを設定します。

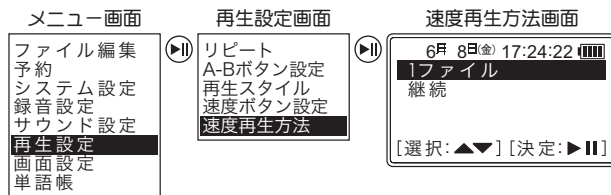
「1 ファイル」または「継続」から選択します。

初期設定は「1 ファイル」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、速度再生方法設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 速度再生方法画面で「1 ファイル」または「継続」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

選択した速度再生方法が設定されます。

注意事項

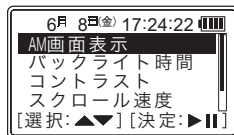
- 設定途中で「メニュー」を押すと、再生設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／再生設定操作（P.83）
- 設定操作／再生設定操作／速度ボタン設定（P.87）
- 再生操作／再生速度変更操作（P.47）

概要解説

本機の画面に関する設定操作を行います。

画面設定には次の項目があります。

設定項目	参照	設定項目	参照
AM画面表示	P.91	スクロール速度	P.94
バックライト時間	P.92	ID3タグ	P.95
コントラスト	P.93		

操作条件

以下の操作時は、画面設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。
設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [メニュー] を押します。
メニュー画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して「画面設定」を選択します。

4. [▶II] を押します。
画面設定画面が表示されます。

5. 任意の各種設定操作を行います。

関連事項

・一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

AM 画面表示

概要解説

AM モード時の画面表示を設定します。

「常時 ON」に設定すると、画面は常に表示されます。

「OFF」に設定すると、2 秒間ボタン操作がない場合に画面が消灯します。

液晶画面の動作ノイズにより、AM ラジオが聞き取りにくい場合など、画面表示を「OFF」に設定すると、ノイズを軽減することができます。

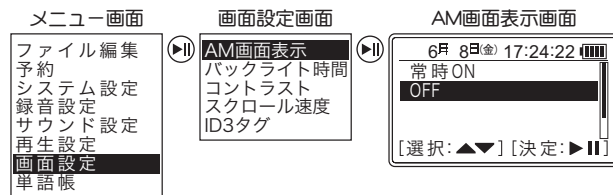
初期設定は「常時 ON」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、AM 画面表示設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. AM 画面表示画面で「常時 ON」または「OFF」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. [▶II] を押します。

選択した AM 画面表示方法が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、画面設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／画面設定操作（P.90）

バックライト時間

概要解説

画面のバックライト点灯時間を設定します。

「OFF」に設定すると、ボタンを操作してもバックライトは点灯しません。

「1 秒」、「3 秒」、「5 秒」、「10 秒」、「20 秒」、「30 秒」に設定すると、ボタンを操作した後、設定した時間の間、バックライトを点灯します。

「連続」に設定すると、常にバックライトを点灯します。

初期設定は「30 秒」に設定されています。

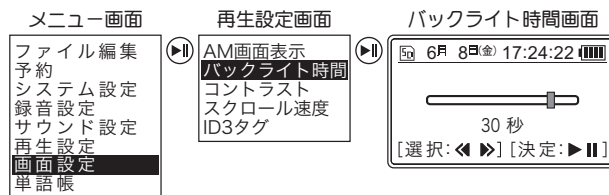
操作条件

以下の場合は、バックライト時間設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. バックライト時間画面で「OFF」、「1 秒」、「3 秒」、「5 秒」、「10 秒」、「20 秒」、「30 秒」、「連続」から設定します。

メニュー画面　再生設定画面　バックライト時間画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

選択したバックライト時間が設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、画面設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

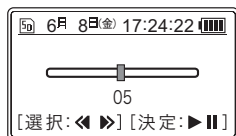
- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／画面設定操作（P.90）

コントラスト

概要解説

画面のコントラスト（濃淡）を設定します。

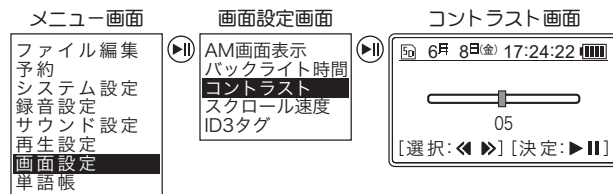
1 ～ 10 レベルの間で 1 レベル単位で選択します。レベルが高いほど濃くなります。

初期設定は「05」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、コントラスト設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. コントラスト画面で「1 ～ 10」レベルから設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

選択したコントラストレベルが設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、画面設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／画面設定操作（P.90）

スクロール速度

概要解説

画面のスクロール速度を設定します。

「OFF」、「遅」、「中」、「速」からスクロール速度レベルを選択します。

初期設定は「中」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、スクロール速度設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. スクロール速度画面で「OFF」、「遅」、「中」、「速」から設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. [▶II] を押します。

選択したスクロール速度レベルが設定されます。

注意事項

- 設定途中で「メニュー」を押すと、画面設定を中止してトップ画面に戻ります。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／画面設定操作（P.90）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

ID3 タグ

概要解説

画面に表示されるID3タグ情報の表示を設定します。

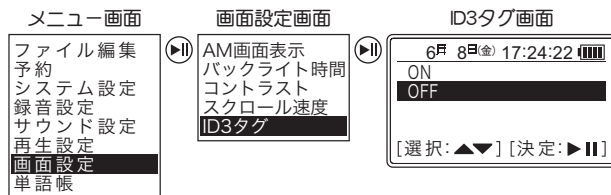
初期設定は「OFF」に設定されています。

操作条件

以下の場合は、ID3タグ設定操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. ID3タグ画面で「ON」または「OFF」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

「ON」または「OFF」が設定されます。

注意事項

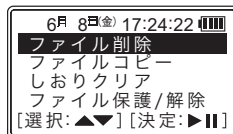
- 設定途中で「メニュー」を押すと、画面設定を中止してトップ画面に戻ります。
- 本機のID3タグは2.1、2.2、2.3に対応しており、ID3タグ情報はUNICODE（UTF-16）を使用しています。他の方法で使用した場合は、文字を正確に表示することができません。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- 設定操作／画面設定操作（P.90）

概要解説

本機のファイル編集に関する操作を行います。

ファイル編集操作には次の項目があります。

設定項目	参照	設定項目	参照
ファイル削除	P.97～	マーク	P.101～
ファイルコピー	P.99	しおりクリア	P.103
ファイル分割	P.100	ファイル保護/解除	P.104

操作条件

以下の操作時は、ファイル編集操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のトップ画面表示中（ファイル分割、マークのみ）
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中（ファイル分割、しおりクリア、ファイル保護 / 解除のみ）
- TM/MUSIC モード時のファイル再生一時停止中（しおりクリア、ファイル保護 / 解除のみ）
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。
   設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。
2. [モード] を押して、「TM」モードまたは「MUSIC」モードを選択します。
3. [▲]、[▼] を押して編集を行うファイルを選択します。
4. [メニュー] を押します。
   メニュー画面が表示されます。
5. [▲]、[▼] を押して「ファイル編集」を選択します。
6. [▶II] を押します。
   ファイル編集画面が表示されます。
7. 任意の各種設定操作を行います。

注意事項

- 「ファイル分割」、「マーク」を行う場合は操作手順が異なりますので、各操作手順を参照してください。
- 「ファイルコピー」、「ファイル分割」の動作中に [メニュー] を押すと、動作をキャンセルすることができます。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）

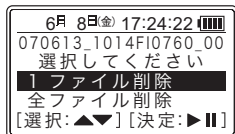
ファイル削除

概要解説

不要になったファイルを削除します。

ファイル再生・一時停止中にも行うことができます。

フォルダプレイの場合は、フォルダを選択しフォルダ内の全ファイルを削除することができます。

メモリカード内のファイルも削除することができます。

操作条件

以下の場合は、ファイル削除操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. ファイル削除画面で「1 ファイル削除」または「全ファイル削除」を設定します。

メニュー画面 → ファイル編集画面 → ファイル削除画面

メニュー画面	ファイル編集画面	ファイル削除画面
ファイル編集 予約 システム設定 録音設定 サウンド設定 再生設定 画面設定 単語帳	ファイル削除 ファイルコピー しおりクリア ファイル保護/解除	6月 8日(金) 17:24:22 070613_1014FI0760_00 選択してください 1 ファイル削除 全ファイル削除 [選択:▲▼][決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

「はい」の場合は、ファイルが削除されます。

「いいえ」の場合は、トップ画面に戻ります。

注意事項

- 本機で削除できるのはファイルのみでフォルダは削除できません。
- 本機で削除できるファイルは、本機で再生することができるファイル形式に限られます。
- 削除されたファイルは復元させることはできません。注意して操作してください。

関連事項

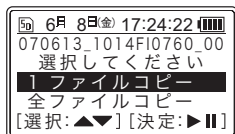
- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- ファイル操作／ファイル編集操作（P.96）
- 設定操作／再生設定操作／再生スタイル（P.86）
- 再生操作／再生・停止操作（P.44）
- 録音操作／メモリ選択操作（P.36）

ファイルコピー

概要解説

内蔵メモリ内のファイルをメモリカードにコピーします。

または、メモリカード内のファイルを内蔵メモリにコピーします。

6月 8日(金) 17:24:22
070613_1014FI0760_00
選択してください
1 ファイルコピー
全ファイルコピー
[選択:▲▼][決定:▶II]

操作条件

以下の場合は、ファイルコピー操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中／録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中
- メモリカード未挿入時

操作手順

1. 対象ファイルを選択し、ファイルコピー画面で「1 ファイルコピー」または「全ファイルコピー」を設定します。

メニュー画面
ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

ファイル編集画面
ファイル削除
ファイルコピー
しおりクリア
ファイル保護/解除

ファイルコピー画面
6月 8日(金) 17:24:22
070613_1014FI0760_00
選択してください
1 ファイルコピー
全ファイルコピー
[選択:▲▼][決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

2. ［▶II］を押します。

ファイルコピー先画面が表示されます。

3. ［▶II］を押します。

ファイルコピー確認画面が表示されます。

4. [▲]、[▼]を押して「はい」または「いいえ」を選択します。

5. ［▶II］を押します。

「はい」の場合は、ファイルがコピーされます。

手順 1. で「1 ファイルコピー」を選択した場合は対象ファイルのみを、「全ファイルコピー」を選択した場合は対象ファイルが含まれるフォルダ内の全ファイルをコピーします。

「いいえ」の場合は、トップ画面に戻ります。

注意事項

- 同一メモリにファイルをコピーすることはできません。
- 保護、しおり、お気に入りが設定されたファイルをコピーしても、コピー先では保護、しおり、お気に入りマークは付きません。
- フォルダを選択した場合は、フォルダ内の全ファイルのみをコピーすることができます。指定したフォルダ内にあるサブフォルダはコピーすることができません。
- 「ファイルコピー」の動作中に［ メニュー ］を押すと、動作をキャンセルすることができます。

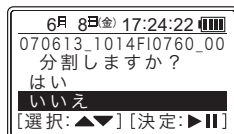
関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- ファイル操作／ファイル編集操作（P.96）
- 録音操作／メモリ選択操作（P.36）

ファイル分割

概要解説

ファイルを一時停止した箇所でファイルを2つに分割することができます。

分割後の前半のファイル名には「_1」が付き、後半のファイル名には「_2」が付きます。

操作条件

以下の場合は、ファイル分割操作は行えません。

- AM/FM モード時
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. ファイル再生中に[▶||]を押し、一時停止します。

2. ファイル分割画面で「はい」または「いいえ」を設定します。

ファイル編集画面

ファイル削除
ファイルコピー
ファイル分割
マーク
サウンド設定
再生設定
画面設定
スリープタイマー
自動オフタイマー
単語帳

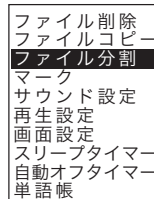
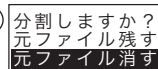
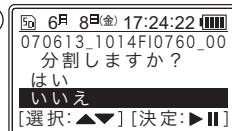
▶II

編集確認画面

分割しますか?
元ファイル残す
元ファイル消す

▶II

ファイル分割画面

6月 8日(金) 17:24:22
070613_1014FI0760_00
分割しますか?
はい
いいえ
[選択:▲▼][決定:▶II]

参照 メニュー画面とボタン操作(P. 27)

編集確認画面で「元ファイル残す」を選択すると、元ファイルを残すことができます。
「元ファイル消す」を選択すると、元ファイルは消去されます。

3. [▶||]を押します。

「はい」の場合は、ファイルが分割されます。
「いいえ」の場合は、ファイル一時停止画面に戻ります。

注意事項

- TM/MUSIC モードのトップ画面からは、ファイル分割操作を行うことはできません。
  対象ファイルを再生させ、一時停止させた状態でのみ、ファイル分割操作を行うことができます。
- 本機では、MP3ファイルのみ分割操作を行うことができます。
  WMA ファイルなど、その他のファイルは分割できません。
- 「ファイル分割」の動作中に[メニュー]を押すと、動作をキャンセルすることができます。

関連事項

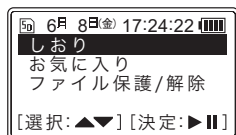
- 一般操作/メニュー画面とボタン操作(P.27)
- ファイル操作/ファイル操作(P.96)

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

マーク（しおり、お気に入り、ファイル保護）

概要解説

ファイルにマークを付けます。

マークを設定すると、設定した位置からの再生や、繰り返し聞きたい位置の頭出しを行うことができます。マークを設定したファイルには、マークの種類に応じて各記号が付加されます。マークの種類、記号および内容は次のとおりです。

マーク	内　容
：しおり	「しおりプレイ」時、しおりを設定したファイルのみを再生します。また、しおりを設定した位置から再生することができます。繰り返し聞きたい位置を頭出しすることもできます。 しおりは20ファイルに設定でき、1ファイル内に4ヵ所まで挿入することができます。
★：お気に入り	「お気に入りプレイ」時、お気に入りを設定したファイルのみを再生します。
：ファイル保護	不用意なファイル編集・削除から、ファイルを保護します。

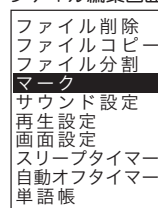
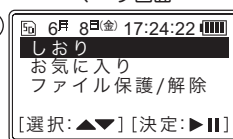
操作条件

以下の場合は、マーク設定操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順 マークの設定

1. ファイル再生中に[▶II]を押し、一時停止します。

2. マーク画面で「しおり」または「お気に入り」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

マークの設定はファイル再生中にも行うことができます。

しおりの設定は、ファイル再生中に［戻る］を押して登録することもできます。

参照 再生中のしおり設定（P. 102）

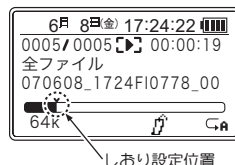
お気に入りの設定は、TM/MUSICモードのトップ画面でファイル選択中に、［速度］を押して登録・解除することもできます。

3. ［▶II］を押します。

選択したマークが設定されます。

操作手順 **再生中のしおり設定**

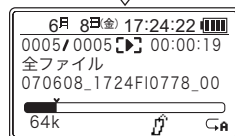
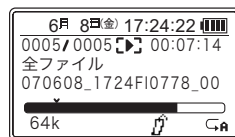
1. ファイル再生中に[戻る]を押します。

[戻る]を押した場所にしおりが設定され、画面下にしおりマークが表示されます。

操作手順 **頭出し操作**

1. しおりを設定したファイルの再生中または一時停止中に、[<◀] または [▶>] を長押しします。

設定したしおり位置に移動します。

再生中の場合は、しおり設定位置から再生を再開します。

一時停止中の場合は、しおり設定位置で一時停止となります。

操作手順 **ファイル内のしおり削除操作**

1. しおりを設定したファイルの一時停止中に、[<◀] または [▶>] を長押しします。

設定したしおり位置に移動します。削除したいしおり位置に移動するまで[<◀]または[▶>]の長押しを繰り返します。

2. [メニュー]を押します。

ファイル編集画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して「マーク」を選択します。

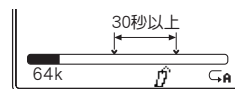
4. [▶||] を押します。

マーク画面が表示されます。

5. [▲]、[▼] を押して「しおり」を選択します。

設定されていたしおりが削除され、一時停止中画面に戻ります。

注意事項

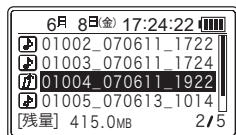
- TM/MUSIC モードのトップ画面からは、「しおり」または「お気に入り」の設定を行うことはできません。
- 1 ファイルに複数のしおりを設定する場合、指定したしおりの間隔が 30 秒以上離れている必要があります。

- しおりの設定位置は、実際より± 5 秒程度の誤差があります。
- 保護されているファイルを編集することはできません。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- ファイル操作／ファイル編集操作／しおりクリア (P.103)
- ファイル操作／ファイル編集操作／ファイル保護/解除 (P.104)

しおりクリア

概要解説

トップ画面で選択したファイルに設定されているしおりをすべてクリアします。

操作条件

以下の場合は、しおりクリア操作は行えません。

- AM/FM モード時
- TM/MUSIC モード時のファイル再生中
- TM/MUSIC モード時のファイル一時停止中
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順

1. 対象ファイルを選択し、しおりクリア画面で「はい」または「いいえ」を設定します。

参照 メニュー画面とボタン操作(P. 27)

2. [▶II] を押します。

「はい」の場合は、しおりが消去されます。

「いいえ」の場合は、TM/MUSIC モードのトップ画面に戻ります。

注意事項

- 1ファイル内にある特定のしおりのみをクリアする場合は、P.101 を参照してください。

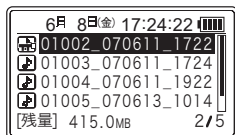
関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作(P.27)
- ファイル操作／ファイル操作(P.96)

ファイル保護 / 解除

概要解説

ファイル保護の設定 / 解除を行います。

ファイル保護を設定すると、編集操作が行えなくなります。

操作条件

以下の場合は、ファイル保護 / 解除操作は行えません。

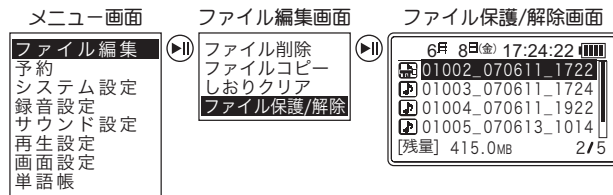
- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

操作手順 ①メニュー画面からの設定

1. 対象ファイルを選択し、「ファイル保護 / 解除」を設定します。

メニュー画面

ファイル編集画面

ファイル保護/解除画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

2. ［▶II］を押します。

ファイルが保護に設定されます。
トップ画面に戻り、アイコンに「」が表示されます。
保護ファイルの場合は、ファイル保護を解除します。
トップ画面に戻り、通常のアイコンが表示されます。

操作手順 ②トップ画面からの設定

1. トップ画面から対象ファイルを選択します。

2. ［<◀］または［▶>］を 3 秒以上、長押しします。

ファイルが保護に設定されます。
アイコンに「」が表示されます。
保護ファイルの場合は、ファイル保護を解除します。

注意事項

- ファイル保護 / 解除の設定は、ファイル再生・一時停止中にも行うことができます。
- フォーマットを行うと、ファイル保護をしていてもファイルは削除されます。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- ファイル操作／ファイル操作（P.96）
- ファイル操作／ファイル編集操作／マーク（しおり、お気に入り、ファイル保護）（P.101）

レッスン機能操作

概要解説

ラジオから録音した英会話講座を聞きながら自分の発音を内蔵マイクから録音し、英会話講座の発音と聞き比べたいときに利用する機能です。

ここでは、レッスン機能の内容をよりわかりやすくするため、具体的な例をもとに説明します。

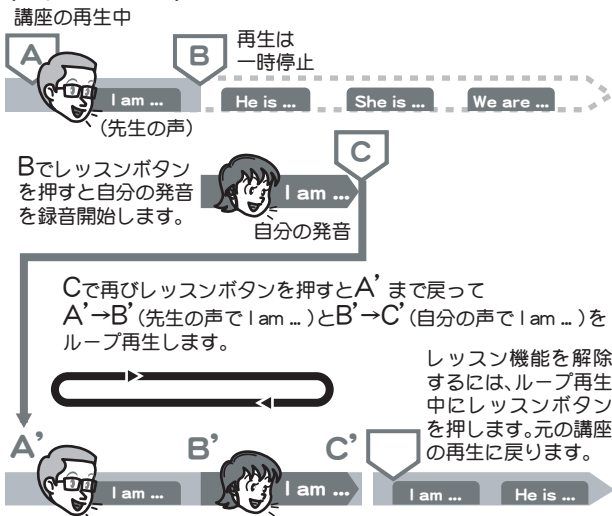
例）
英会話講座のファイルを聞きながら自分の発音を録音し、英会話講座の先生の発音と自分の発音を聞き比べします。

〈レッスンモード〉イメージ図

講座の再生中
A
B
再生は
一時停止
I am ...
He is ...
She is ...
We are ...
（先生の声）
C
Bでレッスンボタンを押すと自分の発音を録音開始します。

I am ...
自分の発音

Cで再びレッスンボタンを押すとA' まで戻って
A'→B'（先生の声で I am ... ）とB'→C'（自分の声で I am ... ）をループ再生します。

レッスン機能を解除するには、ループ再生中にレッスンボタンを押します。元の講座の再生に戻ります。

※自分の発音は、先生の声（ I am ... ）とできるだけ同じ速度で発音してください。

操作条件

以下の操作時は、レッスン機能操作は行えません。

- AM/FM モード時
- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- TM/MUSIC モード時のトップ画面表示中
- TM/MUSIC モード時のファイル一時停止中
- その他設定操作中

操作手順

1. 操作している動作があれば停止します。

設定操作をしている場合は、[メニュー] を押して、各モードのトップ画面へ戻ってください。

2. [モード］を押して、「TM」モードまたは「MUSIC」モードを選択します。

3. [▲］、[▼］を押して英会話講座ファイルを選択します。

4. [▶ll］を押します。

英会話講座ファイルが再生されます。

5. 英会話講座ファイルの聞き比べしたい部分の再生が終わった時点で、[録音 / レッスン］を押します。

英会話講座ファイルの再生が一時停止し、モード表示に「LESSON」が表示されます。
赤色 LED が点灯し、録音を開始します。
画面にはレッスン録音の秒数が表示されます。

6. 自分の発音を録音します。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

7. 内蔵マイクからの録音が終了したら［録音 / レッスン］を押します。

8. 英会話講座ファイルの一時停止位置より、録音した時間分戻った位置から一時停止位置までを再生します。

9. 英会話講座ファイルが一時停止します。

10. 内蔵マイクで録音された内容を再生します。

11. 操作手順 8 ～ 10 をくり返します。

12. ［録音 / レッスン］を押します。
レッスン機能が解除され、通常の再生に戻ります。

注意事項

・レッスン機能の録音時間は最大 60 秒間です。
内蔵マイクからの録音が 60 秒経過しても［録音 / レッスン］が押されない場合は、自動的にレッスン録音を停止して［録音 / レッスン］を押したときと同様の処理を行います。

関連事項

・録音操作／手動録音操作／マイク音源の録音（P.38）
・再生操作／再生・停止操作（P.44）

単語帳機能

概要解説

単語帳機能とは主に外国語を覚えるため、「外国語の単語」と「日本語訳」をペアで記録し、それらをリストで管理する機能です。1つのペアについて「表（問題）/裏（答え）」があり、関連文章や発音などを合わせて学習することができます。

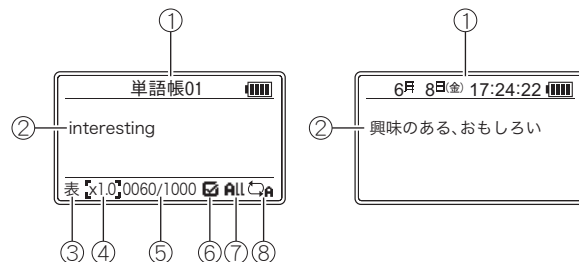
本機には、あらかじめ数種類の単語帳が収録されています。

収録された単語帳ファイルは、本機で選択・削除することができますが、単語帳の内容については、本機では編集できません。

単語帳に関するデータ作成や編集方法については、CDの「単語帳を編集する」内に収録された「取扱い説明」を参照してください。

単語帳機能には、表／裏の表示を手動で行う「通常モード」と、自動で再生・表示を行う「流し聞きモード」があります。

単語帳機能の詳しい操作については、付録／単語帳操作（P.142）を参照してください。

※本書では、「表（問題）/裏（答え）」の2ページ分を1セットとして「1カード」と表現をします。

No.	表示内容	機能・説明
①	単語帳名／日付・時間表示	ボタン操作時に単語帳名を表示します。
②	単語・意味	単語・意味を表示します。
③	カードの表・裏	カードの表（単語）、または裏（意味）のどちらかを表示します。
④	速度	現在の再生速度を表示します。
⑤	現在のカード番号/全カード数	単語番号と全単語数を表示します。
⑥	表示・非表示設定状態の表示	非表示のときは「□」、表示のときは「☑」を表示します。
⑦	全表示･指定表示の表示	全表示のときは「All」、指定表示のときは「Pic」を表示します。
⑧	カード表示方法	A：順番にくり返し表示します。 R：ランダムにくり返し表示します。

操作条件

以下の場合は、単語帳機能操作は行えません。

- 録音中
- 録音一時停止中
- 予約再生中
- その他設定操作中

注意事項

- SD カードを選択している場合、単語帳ファイルを削除することはできません。

関連事項

- 一般操作／メニュー画面とボタン操作（P.27）
- パソコン接続／パソコン接続操作（P.109）
- 付録／単語帳操作（P.142）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作

パソコン接続
用語解説

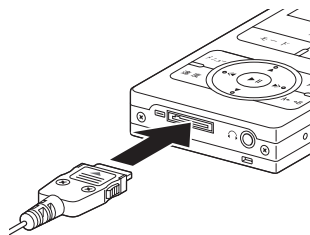
パソコン接続操作

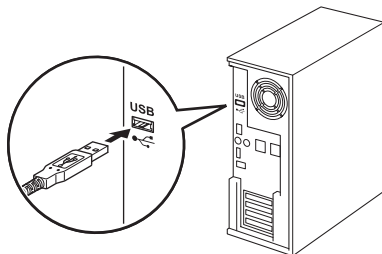
概要解説

本機とパソコンを付属の USB ケーブルで接続し、本機のメモリを USB デバイスとして使用します。

また、本機とパソコンを USB ケーブルで接続すると、本機を充電することができます。

操作手順

1. 本機底面にある端子に、付属の USB ケーブルを接続します。

2. パソコンのUSBコネクタに、付属のUSBケーブルを直接接続します。

パソコンが本機を認識します。

注意事項

- 本機をパソコンに接続するとメモリカードが接続されていなくても、内蔵メモリとメモリカードの 2 つのドライブが認識されます。
- パソコンから本機を取り外す場合は、安全な取り外し処理を行ってから取りはずしてください。
- Windows Vista/XP/2000 では、Windows の標準 USB ドライバで本機をディスクドライブとして認識させることができます。
- マッキントッシュ（Mac）には対応していません。
- 本機がパソコンに接続され、ドライブを認識している間（本機の画面に「USB 接続中」と表示されている間）は、タイマー予約は無効になりますのでタイマー予約がある場合は注意してください。
- パソコンに「USB ハブの電力供給能力を超えました」と表示された場合は、他の USB コネクタに接続し直してください。
- ハブによっては正常に動作しないことがあります。

概要解説

本機はパソコン上で USB 外部記憶装置として使用することができ、通常のパソコン操作と同様に本機のファイルやフォルダを扱うことができます。

パソコンでの操作により、本機とパソコンの双方向でファイルやフォルダなどをコピー（ダウンロードやアップロード）することができます。

操作手順

1. パソコンの画面左下にある［スタート］（Vista の場合は［ ］）を押し、「マイコンピュータ」（Vistaの場合は［ コンピュータ ］）を選択します。

マイコンピュータ（Vistaの場合はコンピュータ）のウィンドウが開きます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

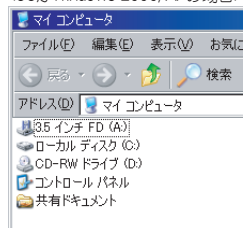
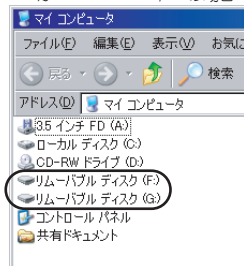
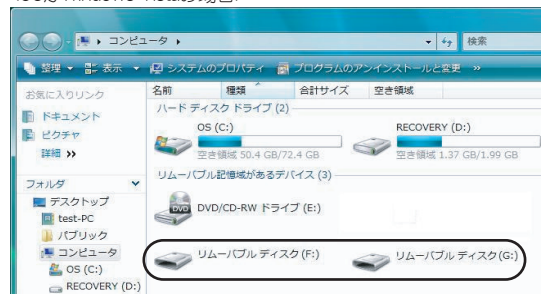
2. 本機とパソコンを接続します。

参照 パソコン接続（P. 109）

パソコンが本機を認識すると、本機のアイコンが 2 つ追加されます。

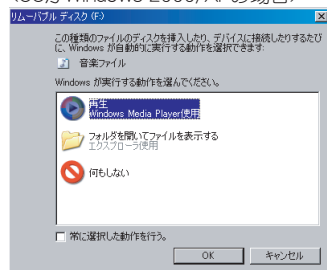
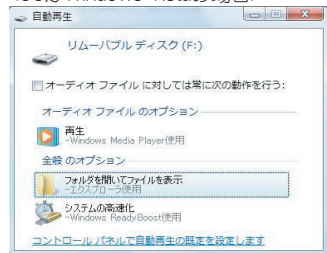
リムーバブルディスクのドライブ記号の若いほうが内蔵メモリ、もう一方がメモリカードです。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

しばらくしても本機を認識できない場合は、パソコン接続（P. 109）を参照してください。

パソコンによっては、ウィンドウが自動的に開く場合があります。本機にメモリカードが装着されていると、2つのウィンドウが開きます。このウィンドウで操作する場合は、内蔵メモリとメモリカードを間違えないように注意してください。

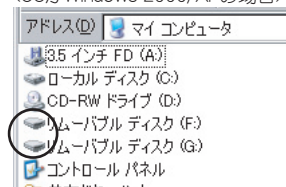
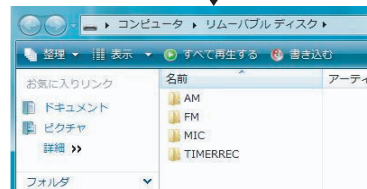
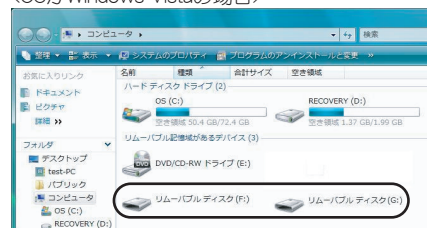
<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

3. アイコンをダブルクリックします。

本機のメモリ内容が表示されます。

右の画面例では、
（F：）が内蔵メモリ
（G：）がメモリカード
です。

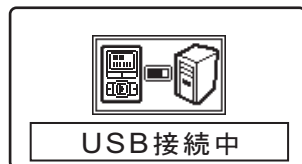
<OSがWindows 2000/XPの場合>

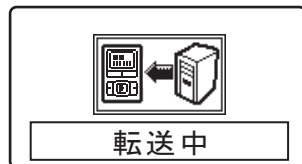
<OSがWindows Vistaの場合>

4. 後の操作は、通常のパソコン操作と同様です。

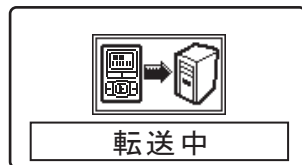
本機とパソコンの双方向でファイルやフォルダをコピーすることができます。

本機とパソコンを接続したとき、ダウンロードやアップロード中には、本機に以下の画面が表示されます。

本機をパソコンに接続

本機に右の画面が表示され、USB 接続中（ドライブ認識中）であることを示します。

パソコンから本機にダウンロード

本機に右の画面が表示され、転送中（ダウンロード中）であることを示します。

本機からパソコンにアップロード

本機に右の画面が表示され、転送中（アップロード中）であることを示します。

注意事項

- ダウンロード／アップロード中は、絶対に USB ケーブルを外さないでください。
  本機のメモリに録音されている内容が破損するおそれがあります。
- パソコンから本機にダウンロードしたファイルやフォルダは、本機で表示する際は半角換算で 64 文字までとなります。
- パソコンから本機にダウンロードするファイルは1フォルダ内につき最大 255 個までとしてください。
  ファイルを大量にダウンロードする場合は、Root に新規フォルダを作成し、作成した新規フォルダ内にダウンロードすることをお勧めします。
  Root 以外のフォルダには、実際に 255 個以上のファイルをダウンロードできますが、本機の動作保証外となります。（Root については、P.125 を参照してください。）
- パソコンの種類や設定により、表示が異なる場合があります。
- メモリカードが装着されていない状態でメモリカードのアイコンをダブルクリックすると、「ドライブにディスクを挿入してください」と表示されます。
  この場合は、「キャンセル」をクリックしてください。

概要解説

本機に付属の CD をパソコンにインストールし、単語帳の編集や予約の設定をパソコン上で行うことができます。

詳細については CD に収録された「取扱い説明」を参照してください。

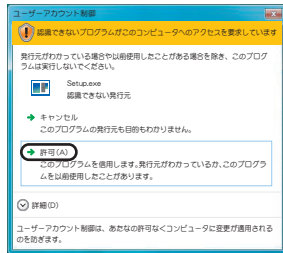
操作手順 **インストールする場合**

1. パソコンの CD 挿入口に付属の CD を挿入します。

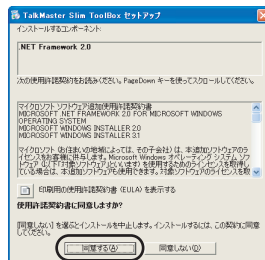
Windows Vista では次の画面が表示されます。

「Setup.exe の実行」、「許可 (A)」を選択し、インストール操作に進んでください。

CD-ROMを挿入すると､右の画面が表示されます。[Setup.exe の実行] をクリックします。

次に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。
[許可] をクリックします。

2. 画面表示に従ってインストール操作を行います。

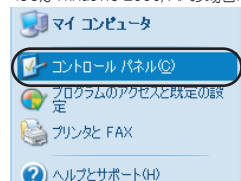
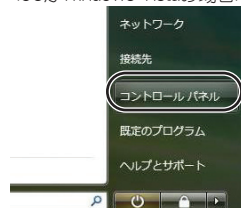
Windows 2000/XP では、Framework2.0 をインストールする必要がある場合があります。

セットアップ画面に従い、Framework2.0 のインストール操作を行ってください。

操作手順　アンインストールする場合

1. パソコンの画面左下にある［スタート］（Vista の場合は［ ］）を押し、「コントロールパネル」を選択します。

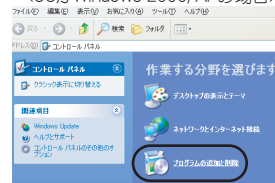
コントロールパネルのウィンドウが開きます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

2. ［プログラムの追加と削除］（Vista の場合は［プログラムのアンインストール］）をダブルクリックします。

プログラムの追加と削除画面（Vista の場合は、プログラムのアンインストールまたは変更画面）が表示されます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

3. Talk Master Slim ToolBox を選択し、［削除］（Vista の場合は［アンインストール］）をクリックします。

プログラムが削除されます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

関連事項

・特殊操作／単語帳機能（P.107）

パソコンから取り外す操作

概要解説

パソコンに接続されている本機と USB ケーブルを取り外します。

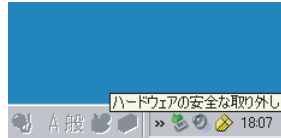
操作手順

1. パソコンの画面右下のタスクバーにあるアイコンの上にマウスポインタ（マウスの移動で動く画面上の矢印）を置きます。

「ハードウェアの安全な取り外し」が表示されれば、そのアイコンがハードウェア取り外しのためのアイコンです。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

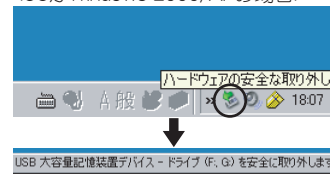
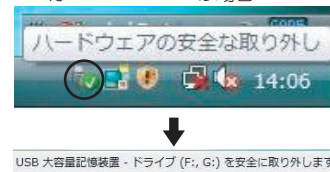
ハードウェア取り外しアイコンが表示されていない場合は、タスクバー内の「<<」または「>>」を左クリックしてください。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

2. ハードウェア取り外しアイコンを左クリックします。

「～を安全に取り外します」のメッセージが表示されます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

USB 大容量記憶装置 - ドライブ (F:, G:) を安全に取り外します

3. 「～を安全に取り外します」のメッセージを左クリックします。

4. 「～は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されます。

取り外し準備完了です。

5. 本機から USB ケーブルを取り外します。

6. パソコンから USB ケーブルを取り外します。

注意事項

- パソコンおよび本機に接続されている USB ケーブルをそのまま取り外すと故障の原因となります。
- パソコンの種類により、画面表示が異なる場合があります。

パソコンでのフォーマット操作

概要解説

パソコンで内蔵メモリまたはメモリカードを初期化します。

パソコンでフォーマットする場合は、「基準のアロケーションサイズ」を選択してください。

フォーマットすると、AM、FM、MIC、LINE、予約 01 ～ 20 の各フォルダをすべて削除することができます。

操作手順

1. フォーマットを行う前には、必要なファイルをパソコンなどにアップロードし、バックアップします。

2. パソコンの画面左下にある［スタート］（Vista の場合は［ ］）を押し、「マイコンピュータ」（Vista の場合は［ コンピュータ ］）を選択します。

マイコンピュータ（Vista の場合はコンピュータ）のウィンドウが開きます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

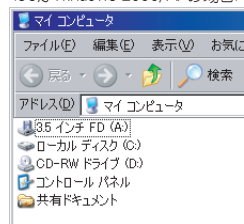
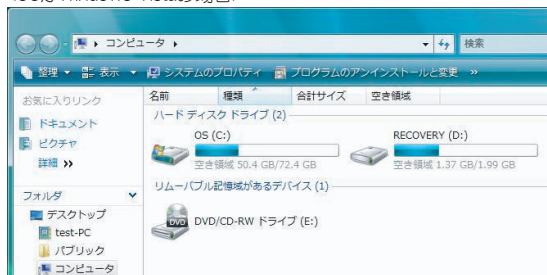
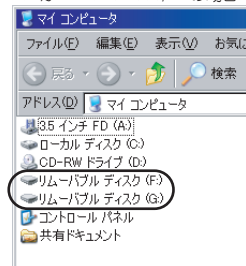
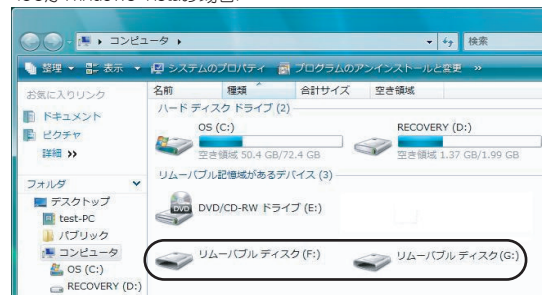
3. 本機とパソコンを接続します。

参照 パソコン接続（P. 109）

パソコンが本機を認識すると、本機のアイコンが 2 つ追加されます。

リムーバブルディスクのドライブ記号の若いほうが内蔵メモリ、もう一方がメモリカードです。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

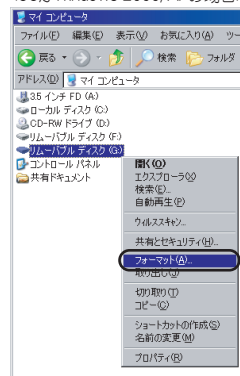
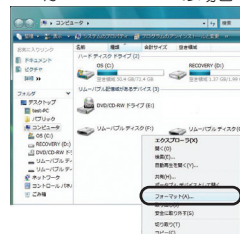
<OSがWindows Vistaの場合>

しばらくしても本機を認識できない場合は、パソコン接続（P. 109）を参照してください。

4. メモリカードのアイコンを右クリックし、メニューで「フォーマット」を選択後、左クリックします。

フォーマットのウィンドウが表示されます。

右の画面例では、
（F：）が内蔵メモリ
（G：）がメモリカード
です。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

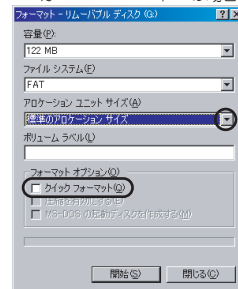
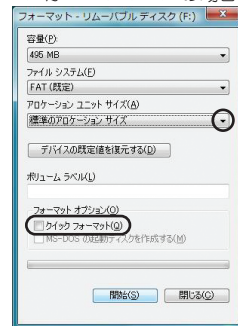
<OSがWindows Vistaの場合>

5. ファイルシステムで「FAT」を選択後、アロケーションユニットサイズで「標準のアロケーションサイズ」を選択します。

右端の「▼」の部分をクリックして「標準のアロケーションサイズ」を選択してください。

クイックフォーマットのチェックボックスにチェックマークがない（空白）ことを確認してください。

チェックマークがある場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外してください。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

6. [開始] をクリックします。

フォーマットを開始します。

7. フォーマットが終了したら、本機をパソコンから取り外します。

参照 ＣＤ インストール・アンインストール操作（P. 113）

8. 本機で再度フォーマットします。

参照 設定操作／システム設定操作／フォーマット（P. 66）

注意事項

- フォーマットされたメモリは復元することはできません。注意して操作してください。
- パソコンの種類により、画面表示が異なる場合があります。
- パソコンの設定によってはハードウェア取り外しアイコンが必ず下に表示されるとは限りません。
- メモリカードをパソコンや本機でフォーマットすると、他の機器では使用できなくなることがあります。
- 内蔵メモリをフォーマットしても、予約内容と各設定内容は削除されません。
- フォーマットをすると、単語帳の内容もすべて削除されます。プリインストールされている単語帳は付属 ＣＤ の中に収録されていますので、そちらをご覧ください。

関連事項

- パソコン接続／パソコン接続操作（P.109）
- パソコン接続／ ＣＤ インストール・アンインストール操作（P.113）
- パソコン接続／パソコンでの操作（P.110）
- 設定操作／システム設定操作／フォーマット（P.66）
- 用語解説／メモリカードとは（P.126）

壊れたファイルの修復方法

概要解説

内蔵メモリまたはメモリカードから、パソコンにファイルを読み出せない場合、本項の操作によりファイルを回復できる可能性があります。

ただし、修復できなかったファイルは削除されます。

操作手順

1. パソコンの画面左下にある［スタート］（Vista の場合は［ ］）を押し、「マイコンピュータ」（Vistaの場合は［ コンピュータ ］）を選択します。

マイコンピュータ（Vista の場合はコンピュータ）のウィンドウが開きます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

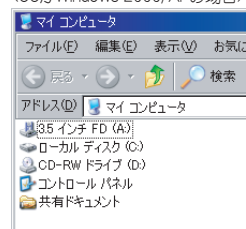
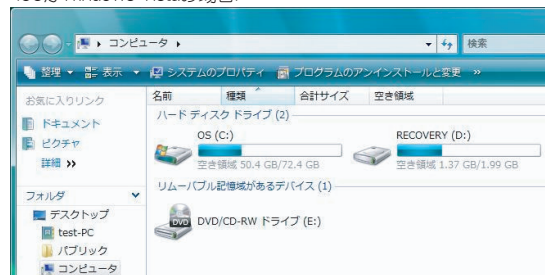
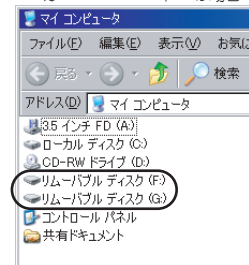
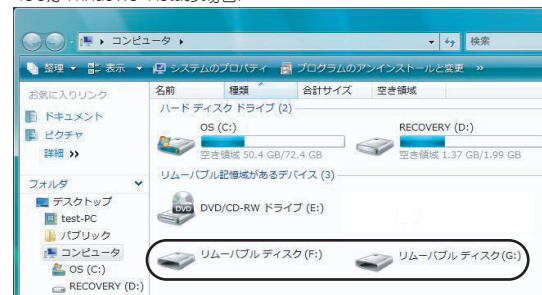
2. 本機とパソコンを接続します。

参照 パソコン接続（P. 109）

パソコンが本機を認識すると、本機のアイコンが 2 つ追加されます。

リムーバブルディスクのドライブ記号の若いほうが内蔵メモリ、もう一方がメモリカードです。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

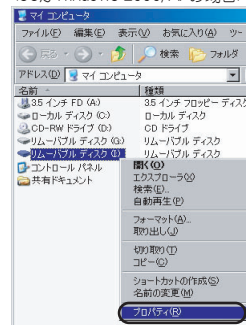
<OSがWindows Vistaの場合>

しばらくしても本機を認識できない場合は、パソコン接続（P. 109）を参照してください。

3. 修復するメモリのアイコンを右クリックし、メニューで「プロパティ」を選択後、左クリックします。

リムーバブルディスクのプロパティのウィンドウが表示されます。

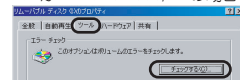
右の画面例では、
（F：）が内蔵メモリ
（G：）がメモリカード
です。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

4. リムーバブルディスクのプロパティ画面の「ツール」を左クリックし、「チェックする」を左クリックします。

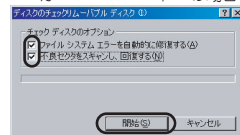
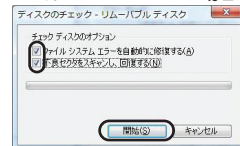
ディスクのチェックリムーバブルディスクのウィンドウが表示されます。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

5. チェックディスクのオプションにチェックマークを入れ、［開始］をクリックします。

ファイルの修復を開始します。

<OSがWindows 2000/XPの場合>

<OSがWindows Vistaの場合>

6. 修復動作終了後、メモリ内を確認し、修復されたファイルをパソコンにバックアップします。

バックアップが終了したら、メモリのフォーマットを行ってください。

参照 パソコンでのフォーマット操作（P. 116）

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

モードとは

TM モード

本機で予約録音したファイルはここに保存され、ファイルを選んで再生することができます。

AM モード

AM ラジオを受信／録音することができます。

FM モード

FM ラジオを受信／録音することができます。

MUSIC モード

本機で手動録音（予約録音を除く）したファイル、パソコンからダウンロードしたファイルはここに保存され、ファイルを選んで再生することができます。

再生スタイルとは

ノーマルプレイ

すべてのファイルが表示される基本的なスタイルです。フォルダは表示されず、ファイルのみが順に表示されます。TM モードでは、予約録音したファイルが再生できます。MUSIC モードでは、予約録音以外のすべてのファイルが再生できます。再生スタイルの工場出荷時設定はノーマルプレイに設定されており、ファイルの数が少ない場合などはノーマルプレイが一番簡単な再生方法になります。

フォルダプレイ

ファイルがフォルダに分類されて表示されます。

TM モードでは、TIMERREC フォルダ内の予約フォルダ内に保管されている予約録音したファイルが再生できます。

MUSIC モードでは、本機で録音したファイルやパソコンで作成したフォルダ内に保管されているファイルが再生できます。
（フォルダに入っていないファイルも再生できます）

お気に入りプレイ

本機では、任意のファイルにお気に入りマークを付けることができ、お気に入りを付けたファイルのみを再生することができます。

お気に入りプレイは、TM または MUSIC のどちらのモードに入っているファイルでも再生することができます。[速度]を押すと、ファイルにお気に入りを付けることができます。

しおりプレイ

ファイルにしおりを付けると、簡単な操作でしおりを付けたところからの再生を行うことができます。繰り返し聞きたい位置を頭出しする機能です。

ファイルとは

本機の録音はビデオテープやカセットテープとは異なり、１回の録音ごとに固有の名前が付いたデジタルデータとして IC メモリの中に記憶されます。この録音 1 回分のデジタルデータを「ファイル」と呼びます。
本機で録音したファイルは、自動的に名前（ファイル名）が付きます。
デジタルデータは、音質劣化がなく、面倒な頭出しもファイル名を呼び出すことで簡単にできるため大変便利です。

MP3（エムピースリー）

ラジオなどのアナログ信号をデジタル化して録音する方式にはたくさんの種類がありますが、本機での録音は音楽向けに良く使われる MP3 という形式を採用しています。
MP3 は、音楽 CD と同程度の高音質な録音をすることができ、多くのパソコンでもそのまま再生することができる形式です。
本機では、録音時 32、64、96、128、192、256kbps、再生時 16 ～ 320kbps の各ビットレートに対応しています。
また、VBR(可変ビットレート) 形式の MP3 にも対応しています。
本機で再生できるファイル形式は MP3 以外に WMA があります。

WMA(ダブリュエムエー)

主に、Windows パソコンの MediaPlayer で使用されているファイル形式です。本機は 64 ～ 192kbps のビットレートの再生に対応しています。なお、WMA 形式は一部の再生操作 (速度調整やキュー ＆レビュー) には対応していません。また、VBR 形式の WMA ファイル、WMA プロ形式ファイル、可逆 (ロスレス) 圧縮形式 WMA ファイルの再生、およびDRM(著作権保護機能)には対応しておりません。

ファイルの名前

本機で録音したファイルは、自動的に名前（ファイル名）が付きます。

ファイル名の構成は、以下のとおりです。

予約番号01で4月24日7時10分から
AM(909KHｚ)放送を内蔵メモリへ録音した場合の例

070424_0710AI0909_01001.MP3

手動録音で4月24日7時10分からMIC(マイク)で
メモリカードへ録音した場合の例

070424_0710ME_00001.MP3

パソコンから本機で録音したファイルを参照する場合は、管理上連番の部分が３桁となります。

フォルダとは

本機で録音したファイルやダウンロードした音楽ファイルなどが多くなると、それらを種類ごとに整理して保存しておく必要が出てきます。

そこで、種類ごとに名前を付けた入れ物をいくつか用意して、ファイルをその入れ物の中に分類して入れておくと大変便利です。この入れ物のことを「フォルダ」と呼びます。
フォルダは、フォルダの中にまたフォルダを作ることができ、さらに細かい分類をすることもできます。
フォルダの中にフォルダを作ることを「階層」と呼び、10階層まで作ることができます。
また、一番上位となる元の階層を ROOT（ルート）と呼びます。

フォルダはパソコンを操作して作成することができ、作成したフォルダには自由に名前を付けることができます。(ただし、パソコンで許されていない文字は使用できません)

自動的に作成されるフォルダ（予約録音時）

フォルダ名		自動作成されるタイミング
TIMERREC		予約録音時。以下の予約01～20フォルダの親フォルダとして作成されます。
	予約 01	予約番号01の予約録音時。TIMERRECフォルダの中に作成され、予約番号01で予約録音されたファイルは、この中に保存されます。
	予約 02	予約番号02の予約録音時。TIMERRECフォルダの中に作成され、予約番号02で予約録音されたファイルは、この中に保存されます。
	～	～
	予約 20	予約番号20の予約録音時。TIMERRECフォルダの中に作成され、予約番号20で予約録音されたファイルは、この中に保存されます。

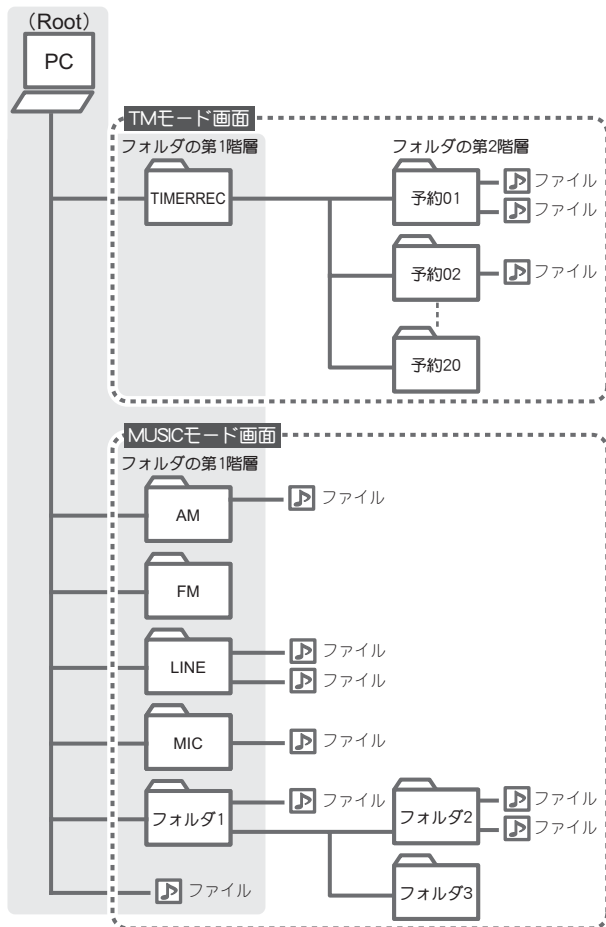
予約 01 ～ 20 のフォルダは予約録音された時点で自動的に作成されますので、予約録音されていない予約番号の「予約番号」フォルダは存在しません。

予約録音されたファイルは TM モードで再生できます。

自動的に作成されるフォルダ（手動録音時）

フォルダ名	自動作成されるタイミング
AM	AMラジオの録音時。
FM	FMラジオの録音時。
MIC	内蔵または市販の外部マイクからの録音時。
LINE	ライン入力の外部音源からの録音時。

予約録音以外のファイルはMUSICモードで再生できます。

予約録音時や手動録音時に自動作成されたフォルダを、パソコンでフォルダ名の変更をしたり、パソコンで削除した場合は、次の録音時に所定のフォルダが再び自動作成されます。

予約録音をした場合は、「TIMERREC」フォルダが作成され、その中に「予約 01」～「予約 20」のフォルダが作成されます。
本機で予約録音したファイルを確認したい場合は、TMモードに切り替える必要があります。

「TIMERREC」フォルダ以外のフォルダおよび再生ファイルは、すべて MUSIC モードで確認・再生をすることができます。

作成可能なファイル・フォルダの数について

本機をパソコンに接続し、音楽ファイルなど任意の再生ファイルを本機に書き込む場合は、できるだけ新規フォルダを作成し、その中に再生ファイルを入れるようにしてください。
フォルダを作成せずにファイルを書き込んだ場合は、最大で 255 個までとなります。
ファイル名が長い場合は、作成できるファイル数が少なくなります。
ただし、フォルダを作成し、その中にファイルを作成した場合は、最大で 2000 個までファイルを作成することができます。

メモリカードとは

本機にメモリカードを装着すると、本機の内蔵メモリとは別に録音やファイル保存に使用するメモリを増やすことができます。
本機の内蔵メモリとメモリカードはそれぞれ切り替えて使用することができます。
また、メモリカードに録音したファイルは、メモリカード単体での持ち運びも可能になります。
本機内蔵のメモリと、メモリカードは別のメモリとして扱われます。
メモリカードの装着で、本機の内蔵メモリの録音時間を増やしたり、本機の内蔵メモリを使い切った後に連続してメモリカードに録音するといった使い方はできません。

本機で録音やファイル削除を何度も繰り返すと、メモリの作業効率が低下し、最終的に正常な録音や再生ができなくなることがあります。また、お買い上げ後のメモリカードを本機でフォーマットせずに使用した場合も同様です。

このような症状を未然に防ぐために、お買い上げ直後、また一ヶ月に一度程度はメモリをフォーマットすることをお勧めします。

メモリ容量と録音時間の関係

TalkMasterSlimに別売のSDメモリカードに録音する場合、次の時間（時間 h/ 分 m）が録音可能時間の参考値となります。

SD メモリカードは記録メモリ容量に種類があります。TalkMasterSlim で使用できる容量は最大で 2GB です。(SHDC メモリカードは使用できません)。

音質の目安	録音ビットレート	メモリ容量（SDメモリカード）						
		32MB	64MB	128MB	256MB	512MB	1GB	2GB
一般ボイスレコーダ音質	32kbps	2h	4h	8h	16h	32h	64h	128h
↑ AMラジオと同等	64kbps	1h	2h	4h	8h	16h	32h	64h
FMラジオと同等	96kbps	40m	1h20m	2h40m	5h20m	10h40m	21h20m	42h40m
音楽ＣＤ程度	128kbps	30m	1h	2h	4h	8h	16h	32h
↓	192kbps	20m	40m	1h20m	2h40m	5h20m	10h40m	21h20m
かなり良い音質	256kbps	15m	30m	1h	2h	4h	8h	16h

SD メモリカードのメーカー、初期化状態、品質のバラツキにより、録音可能な時間に個体差が出る場合があります（容量が大きくなるほど、誤差が大きくなります）。

本データは理論値より算出したものです。ＳＤ メモリカードにより実際の録音可能時間には若干の誤差が生じます。あらかじめご了承ください。

使用できるメモリカード

本機で使用できるメモリカードはSDメモリカードのみです。他のメモリカード（コンパクトフラッシュ、メモリスティック、マルチメディアカードなど）は使用できません。また、SDHCメモリカードには対応しておりません。

本機では、最大2GBまでのメモリカードを使用することができます。メモリカードの種類には、32MB／64MB／128MB／256MB／512MB／1GB／2GBなどがあります。

用途に合せてお選びいただき、家電量販店などでお買い求めください。

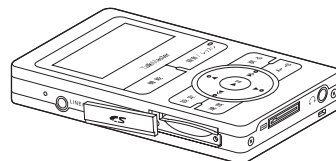
注意事項

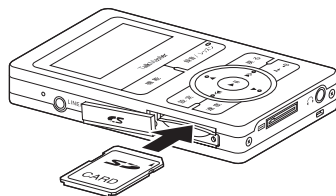
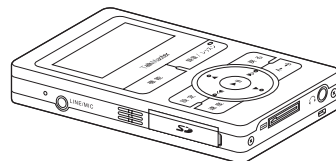
- メモリカードのファイルを再生中、または録音中には、絶対にメモリカードを取り外さないでください。
- メモリカードの取り扱いは、ご使用になるメモリカードの取扱説明書を参照してください。
- メモリカードの最新動作確認情報は、同梱の注意事項チラシ、またはホームページ（トークマスター カスタマーサポート内）でご案内しております。

メモリカードの装着

メモリカードを本機に装着します。
ファイル保存に使用するメモリを増やすことができます。

操作手順

1. 本機の左側面にあるメモリカード挿入口のふたを開けます。

2. メモリカード挿入口にメモリカードを挿入します。

カチッと音がするまで挿入してください。

3. メモリカード挿入口のふたを閉めます。

注意事項

- メモリカードが挿入しにくい場合は無理に挿入せず、メモリカードの向きを確認してください。

メモリカードの取り外し

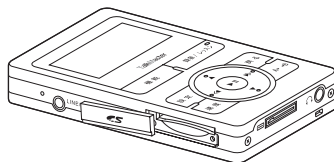
メモリカードを本機から取り外します。

操作条件

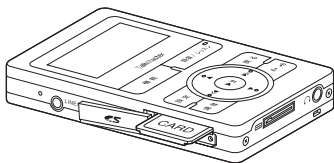
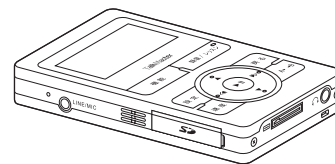
以下の場合は、メモリカードを取り外さないでください。

・TM/MUSIC モード時のファイル再生中
・録音中

操作手順

1. 本体の左側面にあるメモリカード挿入口のふたを開けます。

2. メモリカードを指で押しこみます。

カチッと音がしてメモリカードが半分ほど出てきます。

3. メモリカードを引き抜きます。

4. メモリカード挿入口のふたを閉めます。

注意事項

・メモリカードが挿入されている状態で無理に引き抜かないでください。必ず指で押しこんでから引き抜いてください。

・メモリカードのファイルを再生中、または録音中には、絶対にメモリカードを取り外さないでください。メモリカード内のファイルが破損するおそれがあります。

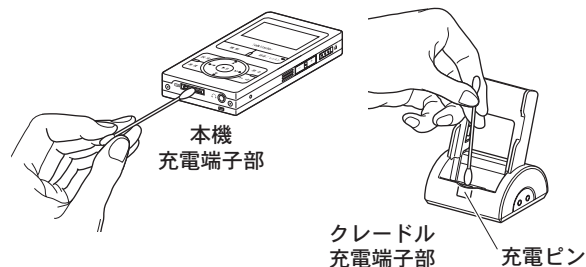
録音メモリのメンテナンス（フォーマット）について

本機で録音・削除を何度も繰り返すと、内蔵メモリやメモリカードの作業効率が落ち、最終的に正常な録音・再生ができなくなることがあります。
一ヶ月に一回程度、内蔵メモリ・メモリカードをフォーマットすることをお勧めします。

参照 フォーマット（P. 66）、パソコンでのフォーマット操作（P. 116）

フォーマットすると、内蔵メモリまたはメモリカード内のすべてのファイルやフォルダが削除されます。保存したいファイルは、あらかじめパソコンにアップロードして保存しておいてください。

お手入れの方法

普段のお手入れは柔らかい布で汚れを軽くふき取る程度で十分です。汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませ、良くしぼってふき取り、洗剤が残らないように新しい布でもう一度仕上げてください。
ベンジンやシンナーなどは、変質、変色の原因になりますので使用しないでください。
本機底面とクレードルの充電端子部が汚れると、充電できなくなることがあります。
定期的に両充電端子部の汚れやホコリを綿棒や柔らかい布などで取り除いてください。
とくに、クレードルの充電端子部はホコリがたまりやすいので、こまめにクリーニングしてください。
クレードルの充電ピンを直接指で触れないでください。
クレードルの充電ピンを変形させないように注意してください。

本機の動作が正常でないときは、以下に記す対策を行ってください。

録音したのに再生ができない

何らかの原因でメモリへ正常に録音されないときは、メモリをフォーマットしてください。

メモリカードが認識できない

何らかの原因でメモリカードが認識できないときは、メモリカードをフォーマットしてください。

参照 フォーマット（P.66）

本機の動作が不安定

操作したとおりに動作しない、予期しない動作をするなど動作が不安定なときは、内蔵メモリやメモリカードをフォーマットしてください。

WMA ファイルが再生できない

・本機は Windows Media Player で圧縮したファイル（WMA 形式のファイル）に対応していますが、Media Player のバージョンが古いと再生できません。Media Player を最新バージョン（バージョン 9 以降）にアップデートしてからお使いください。

・Windows Media Player の「著作権」保護の設定がされた状態で作成された WMA ファイルは、再生できなくなります。

・解決するためには、Windows Media Player の設定を変更し、再度 WMA ファイルを作り直す必要があります。
設定方法や取扱方法については、Windows Media Player のヘルプでご確認ください。

・VBR（ 可変ビットレート ）形式の WMA ファイル、WMA プロ形式ファイル、可逆（ロスレス）圧縮形式 WMA ファイルの再生には対応しておりません。

電源が入らない、操作できない、画面が異常

何らかの原因で操作できなくなったり、画面表示に異常があった場合は、以下の処置を行ってください。

・メモリカードを使用していない場合は、［処置 1］→［処置 2］をお試しください。

・メモリカードを使用している場合は、［処置 1］→［処置 3］→［処置 2］をお試しください。

［処置 1］リセットを行う

①本機と AC アダプタを接続します。
（2 分程、充電をしてください。）

② [HOLD] を OFF にします。

③本機右側面の [RESET] を、先の細いもので軽く押します。
つまようじやクリップなどで押してください。
ボールペンやシャーペンの先では正しく押すことができないことがあります。

・リセットを行っても、録音ファイルや設定は削除されません。

［処置 2］内蔵メモリのフォーマット

①電源を OFF にします。

② [HOLD] を ON にします。

③ [戻る] を押したままの状態で、[RESET] を軽く 1 度だけ押します。
[RESET] は、連続して押さないでください。

・[RESET] を押した後も [戻る] を押し続けてください。
約 5 秒で「"Formating..."」のメッセージが表示されます。
また、メッセージ表示中に [▶||] を押さないでください。

・フォーマットを行うと、録音ファイルや設定がすべて削除されます。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

［処置 3］メモリカードのフォーマット

①メモリカードを、本機またはメモリカード リーダー/ライター（R/W）にセットします。

②パソコンでのフォーマット操作を行います。

参照 パソコンでのフォーマット操作（P. 116）

③パソコンでのフォーマット後、本機をパソコンから取り外します。

参照 パソコンから取り外す操作（P. 115）

④本機でメモリカードのフォーマットを行います。

参照 フォーマット（P. 66）

・メモリカードのフォーマットを行うと、メモリカード内のデータはすべて削除されます。

充電できない、充電してもすぐ使えなくなる

・クレードルの充電ピンに変形がないか確認してください。

・電池パックが寿命になった可能性があります。電池パックの交換については、当社にお問い合わせください。

USBケーブルでパソコンに接続しても、認識してくれない

認識できない理由はいくつか考えられます。
次の方法を試してください。

① [RESET] を押してください。

②メモリカードをご利用の場合は、メモリカードを抜いた状態で接続してみてください。

③ USB拡張ハブをご利用の場合は、パソコンのUSBコネクタに直接接続してみてください。

④ USBの接触不良も考えられますので、他のUSBポートに接続してみてください。
また、ご利用のマウスがUSB接続のものでしたら、マウスが接続してあったポートに接続してみてください。

⑤④の方法で認識できなかった場合は、本機を初期状態（出荷時設定）に戻してみてください。

注意事項

・フォーマットすると、メモリ内のファイルとフォルダがすべて削除されます。
フォーマットは、他に対処方法がない場合の最終手段としてください。

・フォーマットしたメモリカードは他の機器で使用できなくなることがあります。

・リセットしても録音ファイルなどのデータや予約設定などの設定値は消去されません。

・設定値初期化をすると、メインメニューのすべての設定内容が初期状態（出荷時設定）に戻ります。

関連事項

・設定操作／システム設定操作／フォーマット（P.66）

・設定操作／システム設定操作／設定値初期化（P.65）

ボタン操作によるフォーマット

概要解説

本機の動作が不安定な場合は、ボタン操作によるフォーマットをします。

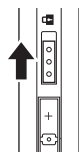
操作手順

1. フォーマットを行う前には、必要なファイルをパソコンなどにアップロードし、バックアップします。

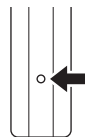
2. AC アダプタを直接本機に接続します。

3. 本機の電源を OFF にします。

参照 電源操作（P. 22）

4. 右側面にある［HOLD］を矢印の方向へスライドさせます。

5. ［戻る］を押しながら、［RESET］を押します。

［RESET］は、連続して押さないでください。

- ［RESET］を押した後も［戻る］を押し続けてください。
  約 5 秒で「"Formating..."」のメッセージが表示されます。
  また、メッセージ表示中に［▶||］を押さないでください。
- フォーマットを行うと、録音ファイルや設定がすべて削除されます。

注意事項

- フォーマットされたメモリは復元することはできません。注意して操作してください。
- フォーマットすると、内蔵メモリ内のすべてのファイルやフォルダが削除されます。
  保存したいファイルは、あらかじめパソコンにアップロードして保存しておいてください。
- ボタン操作によるフォーマットでは、予約の設定内容やメインメニューの設定内容はすべて初期状態に戻ります。
- フォーマットをすると、単語帳の内容もすべて削除されます。プリインストールされている単語帳は付属 CD の中に収録されていますので、そちらをご覧ください。

関連事項

- 一般操作／電源操作／電源 OFF（P.23）
- 用語解説（P.121）
- パソコン接続／パソコンでの操作（P.110）

本体についての Q&A

Question	Answer
一度の充電でどれくらい使用できますか？	再生で約 15 時間、録音で約 8 時間連続して使用することができます。 使用時間につては仕様（P.140）を参考にしてください。
電池パックが寿命になったら？	電池パックの交換をご用命ください。 電池パックの交換については、ユーザーサポートセンターへお問合せください。
充電しながら使用できますか？	できます。
乾電池は使用できますか？	できません。 電池パック専用です。
メモリの容量は？	2GB のメモリを内蔵しています。
何時間録音できますか？	ビットレートにより録音時間は変わります。
使用できるメモリカードの種類を教えてください。	SDメモリカードがご使用いただけます。 (SDHC カードは使用できません)
何メガのメモリカードに対応していますか？	2GB（ギガバイト）までのメモリカードに対応しています。
内蔵メモリからメモリカードへと連続して録音することはできますか？	メモリカードを使用する場合はメモリの切り替え操作が必要になりますので、連続して録音することはできません。

Question	Answer
ラジオのアンテナは付けなければいけないの？	はい。 FM ラジオを内蔵スピーカで聞くときは、付属の FM ケーブルアンテナを接続してください。付属のステレオイヤホンで FM ラジオを聞く場合は、イヤホンがアンテナの役目をしますので FM ケーブルアンテナを接続する必要はありません。 また、AM ラジオを聞くときは、本機に AM ラジオのアンテナが内蔵されていますので、アンテナを接続する必要はありません。
AM ラジオがうまく受信できません。どうしたら良くなるか、良い方法を教えてください。	AM ラジオを窓の近くで聞いてみてください。 本機にはAMラジオのアンテナが内蔵されていますが、室内では電波が弱く、はっきり聞こえないことがあります。また、木造よりも鉄筋造りの室内ではさらに電波が弱くなります。電波は外から入ってきますので、なるべく窓の近くでラジオを聞くことをお勧めします。窓の向きによっても電波状況が異なりますので、よく聞こえる窓を探してみてください。 また、パソコンやテレビなどの電化製品の近くではノイズを拾ってしまうことがありますので、電化製品からできるだけ離れた位置でお聞きください。
テレビの 1 ～ 3ch は受信できますか？	FM モードで受信できます。 下記の周波数に合わせてください。 1ch： 95.7MHz 2ch： 101.7MHz 3ch： 107.7MHz
録音形式を教えてください。	本機での録音は、すべてMP3形式です。

Question	Answer
本機にマイクは付いていますか？	はい。 小型マイクが内蔵されています。
ステレオ録音できますか？	AM ラジオと内蔵マイクはモノラル録音となりますが、FM ラジオとライン録音はステレオ録音が可能です。
ラジカセから本機へ録音できますか？	できます。 市販のオーディオケーブルをラジカセのヘッドホン端子（プラグ 3.5φ）と本機の LINE/MIC 端子に接続して録音してください。
本機からラジカセへ録音でますか？	できます。 市販のオーディオケーブルを本機の PHONES 端子とラジカセのマイク端子（プラグ 3.5φ）に接続して録音してください。
Master シリーズのトークマスターで録音した RVF ファイルは再生できますか？	できません。 対応しているファイルは MP3、WMA です。
再生速度は変えられますか？	再生中に［速度］ボタンを押すことにより、0.5 倍速／ 0.7 倍速／ 1.3 倍速／ 1.5 倍速に変えることができます。
電源を切る前に聞いていたファイルの続きを聞くことはできますか？	できます。 電源を切る前に再生していたファイルの停止位置を記憶し、次回電源を入れたときに、その位置から再生を開始させることができます。
お気に入りって何ですか？	よく聞くファイルにお気に入りマークを付けることにより、マークを付けたファイルのみを再生スタイルの「お気に入りプレイ」で再生することができます。

Question	Answer
時刻自動修正機能って何ですか？	NHK-AM、NHK-FM の時報を検知して、内蔵時計の時刻（秒）を自動で修正する機能です。
録音したファイルの音質が悪いのは？	録音音質の設定を変更してください。ビットレート値を大きくすれば録音音質が向上します。 ただし、ビットレート値を 2 倍にすると、同じメモリ容量で録音できる時間は半分になります。
画面の残量表示（録音できる残り時間）より短い時間しか録音できないのは？	・ 残量表示を確認したときの「モード」と予約設定時の「録音元」が違っていませんか？ （例）「AM」モード時に残量表示を確認して、予約設定で録音元を「FM」に設定した場合 ・ 予約設定時にビットレートを変更していませんか？ （例）手動録音設定で 32Kbps に設定されているビットレートを予約の設定で 64Kbps に変更した場合
メモリが一杯になるとどうなりますか？	録音中にメモリが一杯になると、「メモリが一杯です」とメッセージが表示され、録音を中止します。
予約録音したファイルを再生すると曇った音で聞き苦しいのは？	録音音質の設定を変更してください。ビットレート値を大きくすれば録音音質が向上します。 ただし、ビットレート値を 2 倍にすると、同じメモリ容量で録音できる時間は半分になります。

Question	Answer
ラジオの受信感度がよくない、充電ノイズが入るのは？	電波の弱い場所で録音すると、充電池の充電ノイズが録音ファイルに入り込むことがあります。その場合、本機を受信感度がよくなる場所に移すか、アンテナで電波を補完する必要があります。どうしても受信状況が改善されない場合は、サポートセンターにご相談ください。
AM ラジオのノイズが多いときは？	AMラジオの電波が入りにくい環境では、液晶表示を消灯するとノイズが低減されます。AM 画面表示 OFF をおためしください。
他社製の MP3 プレイヤーで録音ファイルが再生できないのは？	録音形式が MP3 であっても、再生できるデータ構造が限られている機器があります。本機の録音音質（ビットレート値）を 128kbps 以上に設定して録音すれば解決できる可能性があります。 他社製品との互換性についてはお答えできませんのでご了承ください。
ダウンロードした WMA ファイルが再生できないのは？	本機は DRM（著作権保護）、VBR（可変ビットレート）が設定されたファイルは再生できません。
使用中に赤色LEDが点滅しているのは？	メモリの残量が少なくなり、設定した予約の録音ができない状態になると赤色LEDを点滅させて警告します。予約を変更／中止するか、不要なファイルを削除してメモリの残量が増えるまで赤色LEDは点滅し続けます。
クレードルに差しても音が消えない。	仕様です。音を消したい場合はスピーカ出力設定（P.82）を参照してください。
クレードルから抜いても音が聞こえない。	スピーカーの出力設定がOFFになっている可能性があります。 スピーカ出力設定（P.82）の設定を確認してください。
古いトークマスターのデータは再生できますか？	TalkMasterIIのデータはそのままでも再生可能ですが、初代 TalkMaster のデータ（RVF形式）は、TalkMasterSlimでは再生できません。

パソコンについての Q&A

Question	Answer
パソコンの対応 OS は何ですか？	Windows Vista/XP/2000 です。
Macで使えますか？	マッキントッシュ（Mac）OS には対応しておりません。
パソコンが TalkMasterSlim を認識しません。	詳しい内容は、「故障かなと思ったら」（P.130）を参照してください。
付属アプリケーション「ToolBox」が正しく動かない。	パソコン内にあるプログラムが自動更新（Windowsアップグレードなど）で書き変わった可能性があります。この場合、一時的にプログラムの動作が不安定になることがあります。 パソコンを再起動してください。
SD メモリカードが付属アプリケーション「ToolBox」で認識しない。	SDメモリカードをTalkMaster Slim本体でフォーマット（P.66）をしてからもう一度接続してください。

その他についての Q&A

Question	Answer
フォルダって何ですか？	フォルダとは、ファイルを分類・整理するための保管場所です。 フォルダには名称（フォルダ名）をつけることができ、関連する複数のファイルをまとめて一つのフォルダに入れることにより、ファイルが分類・整理されます。 例えるならば、ファイルを「書類」とすれば、フォルダは書類を綴じる「ファイル綴じ」です。 本機では、録音の種類により録音ファイルを自動的にフォルダ管理しています。 ファイルが録音された時点で以下のフォルダが自動的に作成され、その中に録音ファイルが保管されます。 AM ラジオ：「AM」フォルダ FM ラジオ：「FM」フォルダ 内蔵または市販のマイク:「MIC」フォルダ ライン入力：「LINE」フォルダ 予約：「予約 01 ～ 20」フォルダ 任意のフォルダはパソコンで作成してください。作成できるフォルダ数は 255 個です。

Question	Answer
ファイルって何ですか？	ファイルとは、データのまとまりのことで録音や再生するデータの単位とお考えください。音楽でいえば 1 曲のデータが 1 つのファイルになります。 本機ではデータをファイル管理しており、音楽 CD や MD のように曲の頭出しがすばやくできるのが特長です。カセットテープではファイル管理ができないので曲の頭出しに時間がかかりとても不便です。 ファイルには用途や形式によって様々な種類がありますが、本機で再生可能なファイルは MP3・WMA 形式の 2 種類です。また、本機で録音されたファイルはすべてMP3形式で記録されます。
フォルダの階層って何ですか？	フォルダは、フォルダの中にさらにフォルダを作成することができます。このことをフォルダの階層と呼び、本機では 10 階層までフォルダを作成することができます。 フォルダの階層はパソコンで作成してください。作成できるフォルダ数は 255 個です。
IC 録音とはどういう意味ですか？	IC のメモリに直接音声データを記録して録音します。 テープに録音する場合とは異なり、音質が劣化しない、巻戻しに時間がかからないなどのメリットがあります。
ビットレートって何ですか？	音をデジタル録音するとき、1 秒間録音するために必要なデータ量です。 単位は Kbps で、数値が高いほど密度の高い音質（高音質）になります。 ただし、高ビットレートであるほど必要なメモリ容量は増加します。

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

Question	Answer
ID3 タグって何ですか？（ID3v2.1、2.2、2.3 に対応）	ID3 タグは、MP3 ファイル内に記録されている情報データです。音楽であれば、音楽のタイトルや作曲者などの情報が記録されています。ただし、ファイルによっては情報が空白になっていることもあります。
MP3とWMAの再生に対応できるビットレートは？	MP3 は 16Kbps ～ 320Kbps です。 WMA は 64Kbps ～ 192Kbps です。
録音したファイルを自動車のラジオで聞くには？	FMトランスミッターを使用するとラジオの電波に変換され、自動車のラジオで聞くことができます。 詳しくはサポートセンターにお問合せください。

メッセージ一覧

メッセージ	内　容	参照ページ
ファイルがありません	再生できるファイルが存在しません。	P.44
充電中	AC アダプタまたはパソコンとUSB接続での充電中です。	P.14
充電完了	充電が完了しました。	P.14
充電してください	電池が不足しています。 画面にメッセージが表示された後、自動的に電源が切れます。	P.14
USB 接続中	パソコンとUSBケーブルで接続中です。	P.109
ファイル検索中	メモリ内のファイルを検査または検索中です。 内蔵メモリとメモリカードを切り替えるときに表示されます。	P.36
メモリが一杯です	内蔵メモリまたはメモリカードに空き容量が不足しました。 不要なファイルを削除してください。	P.97
カードがありません	メモリカードが本機に装着されていません。 本機にメモリカードを装着してください。	P.126
MP3 ではありません	MP3 ファイルではありません。ファイル形式を確認してください。	P.123

メッセージ	内　容	参照ページ
カードが読めません	メモリカードが本機で読めないフォーマットで初期化されています。 本機でフォーマットしてください。 ※携帯電話やデジタルカメラなどで使用したメモリカードは使用できない場合があります。	P.66
メモリが不足です	予約録音の開始時に、録音しようとする時間に対し、内蔵メモリまたはメモリカードの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	P.97
お気に入りなし	再生スタイルで「お気に入りプレイ」を選択してもお気に入りマークの付いているファイルがない場合に表示されます。	P.101
初期化に失敗しました	内蔵メモリまたはメモリカードのフォーマットが正常に終了できませんでした。	P.66
削除に失敗しました	ファイルやフォルダの削除が正常に終了できませんでした。	P.97
カードがロック状態	メモリカードの書き込み禁止スイッチがONになっています。録音する場合は、書き込み禁止スイッチをOFFにしてください。	P.126

AM ラジオ NHK 第 2 放送局周波数一覧表

単位：kHz

北海道		鶴岡	1035	名古屋	909	松山	1512
札幌	747	福島	1602	豊橋	1359	今治	1476
函館	1467	郡山	1512	尾鷲	1539	新居浜	1035
江差	1359	会津若松	1539	熊野	1602	八幡浜	1035
旭川	1602	いわき	1539	近畿地方		宇和島	1602
名寄	1125	関東甲信越地方		舞鶴	1602	大洲	1476
留萌	1359	東京	693	福知山	1359	城辺	1539
稚内	1467	新潟	1593	大阪	828	高知	1152
遠別	1602	高田	1359	豊岡	1539	中村	1521
室蘭	1125	津南	1539	新宮	1359	大正	1035
浦河	1602	甲府	1602	田辺	1602	九州地方	
釧路	1152	長野	1467	古座	1602	北九州	1602
中標津	1539	小諸	1539	中国地方		福岡	1017
根室	1359	上田	1602	鳥取	1125	長崎	1377
帯広	1125	松本	1512	倉吉	1359	佐世保	1512
北見	702	飯田	1476	米子	1521	熊本	873
遠軽	1539	岡谷諏訪	1359	松江	1593	人吉	1602
東北地方		駒ヶ根	1512	益田	1539	大分	1467
青森	1521	木曽福島	1602	浜田	1359	佐伯	1521
弘前	1467	伊那	1539	岡山	1386	宮崎	1467
八戸	1377	東海北陸地方		津山	1152	延岡	1602
盛岡	1386	富山	1035	新見	1125	都城	1359
釜石	1602	金沢	1386	広島	702	小林	1539
大船渡	1359	輪島	1359	呉	1521	日南	1602
久慈	1539	七尾	1467	三次	1035	高千穂	1359
仙台	1089	福井	1521	東城	1602	串間	1512
気仙沼	1539	敦賀	1512	福山	1602	鹿児島	1386
秋田	774	小浜	1359	福山木之庄	1467	名瀬	1602
横手	1602	勝山	1359	庄原	1359	阿久根	1467
大館	1359	中津川	1359	山口	1377	徳之島	1539
花輪	1521	高山	1125	萩	1125	那覇	1125
山形	1521	萩原	1602	下関	1359	平良	1602
新庄	1539	静岡	639	四国地方		石垣	1521
米沢	1359	浜松	1521	高松	1035		

本体総合	
外形寸法	101mm × 56mm × 14.4mm （縦×横×厚）
重量	約 100 g（本体のみ）
電源	専用ACアダプタ
内蔵メモリ	2GB
動作時間	満充電時：連続再生で約 15時間 （イヤホン再生） 連続録音で約8時間 （AMラジオ 32Kbps） スピーカ使用時：連続再生で約8時間 保管状態、使用温度、条件等で変化しますので保証する時間ではありません。特に低温時やメモリカードで動作する場合は動作時間が短くなります。
PHONES端子	3.5Φ プラグ、ステレオ 出力：8mW 出力適合インピーダンス：16Ω
LINE/MIC端子	3.5Φ プラグ、 LINE:ステレオ　MIC:モノラル/ステレオ ※エレクトレットコンデンサマイク （プラグインパワー）に対応、 ダイナ　ミックマイクには非対応
USB端子	TMコネクタ、ACアダプタ（充電用）
電源入力端子	クレードル用

再生部	
再生ファイル	MP3（VBR対応）、WMA ※DRMには非対応です。
対応ID3タグ	ID3v2.1、2.2、2.3
リピート再生	A-B間、1ファイル、全ファイル、 全ファイルランダム、 ワンタッチリピート
MP3 再生ビットレート	16kbps～320kbps
WMA 再生ビットレート	64kbps～192kbps
小型スピーカ（ステレオ）	0.6W ×2
録音部	
録音方式	MP3
録音 ビットレート	32、64、96、128、192、256Kbps
録音時間 （内蔵メモリ）	約 128時間 （32Kbps録音時）
メモリカード スロット	最大2GBまで使用可能 ※SDHC非対応
保存ファイル数	最大2000個 （内蔵メモリ、メモリカードごとに最大2000個）

ラジオチューナー部	
チューナー	FM/AM電子チューナー
チューナー感度	FM：20dBμV at S/N＝30dB AM：60dBμV at 1000kHz
周波数 プリセット	FM/AM各最大10局
受信周波数	FM76.0～108.0MHz(0.1MHzステップ) AM522～1629kHz(9kHzステップ)
PC インターフェース	
PCインター フェース	USB 2.0（TMコネクタ）
対応OS	Windows Vista/XP/2000
その他	
使用条件	温度 0℃～40℃ 湿度 35%～85%（結露なきこと）
ACアダプタ	入力：AC100V　50/60HZ　10VA 出力：DC5V　0.9A
標準付属品	ステレオイヤホン、ネックストラップ、USBケーブル、クレードル、ACアダプタ、FMケーブルアンテナ、 取扱説明書2冊、CD

単語帳操作

操作手順

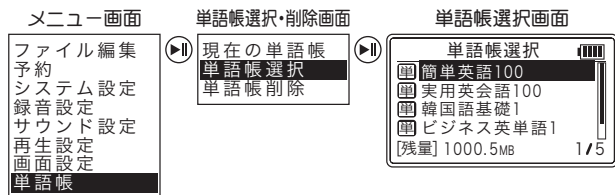
1. 単語帳選択画面を表示し、[▲]、[▼] を押して任意の単語帳ファイルを選択します。

メニュー画面

ファイル編集
予約
システム設定
録音設定
サウンド設定
再生設定
画面設定
単語帳

単語帳選択･削除画面

現在の単語帳
単語帳選択
単語帳削除

単語帳選択画面

参照 メニュー画面とボタン操作（P. 27）

ファイル再生中、一時停止中に「メニュー」を押した場合は、表示されるメニュー内容が異なります。

前回終了時の続きから始めたい場合は、単語帳選択・削除画面で「現在の単語帳」を選択します。

2. [▶‖] を押します。

単語帳の表画面が表示されます。

3. [▲]、[▼] を押して任意のカードを選択します。

4. [<◀]、[▶>] を押し、表画面と裏画面を切り替えます。

画面が切り替わるたびに、単語または意味を表示します。

表画面表示中に [▶‖] を押すと、表示している単語を発音します。

裏画面表示中に [▶‖] を押すと、表示している意味を発音します。

[▲] を押すと 1 つ前のカード、[▼] を押すと次のカードを表示します。

5. [戻る] を長押します。

トップ画面に戻ります。

操作手順 流し聞きモードの場合

1. 単語帳画面を表示します。

2. [録音 / レッスン] を長押しします。

流し聞きモードが動作します。

3. [▶‖] を押します。

流し聞きモードを終了し、通常モードの単語帳に戻ります。

操作手順 単語帳を削除する場合

1. 単語帳選択・削除画面を表示します。

2. [▲]、[▼] を押して「単語帳削除」を選択します。

3. [▶‖] を押します。

単語帳削除画面が表示されます。

4. [▲]、[▼] を押して削除したい単語帳ファイルを選択します。

5. [▶‖] を押します。

削除確認画面が表示されます。

6. [▲]、[▼] を押して「はい」または「いいえ」を選択します。

7. [▶‖] を押します。

「はい」の場合は、単語帳ファイルが削除されます。削除後はトップ画面に戻ります。

「いいえ」の場合は、削除操作をキャンセルしてトップ画面に戻ります。

通常モード時のボタン操作

ボタン名称	短押し	長押し
速度	再生速度を切り替えます。	ファイルの先頭に戻ります。
A ↔ B	A-B間リピートを開始します。	A / R の切替え
戻る	速度再生から通常再生に戻ります。	単語帳を終了し、トップ画面に戻ります。
録音/レッスン	–	流し聞きモードを開始します。 単語表示中： 単語→意味の順で開始 意味表示中： 意味→単語の順で開始
メニュー	表示/非表示のON/OFFを切り替えます。*1	–
モード	単語全表示 / 非表示モード（All/Pic）を切り替えます。*1	–
▶II（再生/停止/決定）	単語/意味を再生します。	電源をOFFにします。
▲（上ボタン）	1つ前の単語 / 意味へ移動します。	連続して前の単語 / 意味へ移動します。
▼（下ボタン）	次の単語 / 意味へ移動します。	連続して後の単語 / 意味へ移動します。
▶>（右ボタン）	単語 / 意味の切り替えをします。	50単語進みます。ファイル内最後の単語/意味で止まります。
<◀（左ボタン）	単語 / 意味の切り替えをします。	50単語戻ります。ファイル内先頭の単語/意味で止まります。

流し聞きモード時のボタン操作

ボタン名称	短押し	長押し
速度	再生速度を切り替えます。	–
A ↔ B	–	–
戻る	速度再生から通常再生に戻ります。	単語帳を終了し、トップ画面に戻ります。
録音/レッスン	–	–
メニュー	–	–
モード	–	–
▶II（再生/停止/決定）	流し聞きモードを終了します。	電源をOFFにします。
▲（上ボタン）	–	–
▼（下ボタン）	–	–
▶>（右ボタン）	–	–
<◀（左ボタン）	–	–

表中の「–」で示す部分は、ボタン操作が無効となります。

*1 非表示モード（Pic）に設定すると、非表示（□）に設定したカードは、通常モード、流し聞きモードに関わらず表示・発音することはできません。

索引

数字

A

D

E

F

H

I

L

M

R

S

T

U

V

あ

い

え

お

か

く

け

さ

し

す

せ

た

ち

本機概要
一般操作
選局操作
録音操作
再生操作
設定操作
ファイル操作
特殊操作
パソコン接続
用語解説

て

な

ね

の

は

ひ

ふ

ふ

ほ

ま

も

よ

り

れ

わ

ご使用にあたってのお願い

(1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

(2) 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

(3) 本機器を運用した結果の影響、または誤ったお取り扱いで生じた不具合、または第三者からの損害賠償の請求については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

(4) 機器の故障および修理によるメモリ内容の消失については当社では一切その責任を負いませんのでご了解ください。

(5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

(6) 顧客または第三者が本機器を正しく使用されなかった場合や本機器が静電気、電気的衝撃を受けた場合は、修理や電池交換の際に記憶内容が変化あるいは消失するおそれがあります。

(7) 本機器は日本国内でのみ使用可能です。海外では規格が異なるため、使用できません。

(8) 本書に記載されているハードウェアもしくはソフトウェアの名称は、各社の商標、もしくは登録商標です。

著作権について

本取扱説明書の内容に対するすべての著作権はサン電子株式会社にあります。
サン電子株式会社の事前承認なしで、本取扱説明書の全部または一部を無断複製および翻訳配布、また商業的に利用することはできなく、これに違反すると著作権侵害になります。
また、本取扱説明書のすべての内容は、製品の機能および性能向上のために事前予告なしで変更されることがあります。
これによる製品と取扱説明書上の相異によって発生する事項に対する当社の責任はありません。

MP3ファイルを個人的な用途ではなく、商業的またはサービスの目的で使用することはできません。これに違反することは、国内著作権法に触れる行為になります。録音した内容を個人的に使用する目的以外に無断複製することは法律で禁止されています。

保証規定

1. 保証期間内に、取扱説明書、本体添付ラベル等の注意書きによる正常なご使用状態において万一故障した場合は無償で修理致します。
2. 保証期間内でも次のような場合は有償修理となります。

　（1）保証書をご提示されないとき。

　（2）保証書の所定事項の未記入、字句を書き換えられたもの、および販売店名の表示がないとき。

　（3）火災・地震・水害・落雷・その他の天災、公害や異常電圧による故障および損傷。

　（4）お買い上げ後の輸送、移動時の落下等お取り扱いが不適当なために生じた故障および損傷。

　（5）取扱説明書に記載の使用方法、注意に反するお取り扱いによって発生した故障、または損傷。

　（6）改造または、ご使用者の責任に帰すと認められる故障、または損傷。

　（7）接続している他の機器、その他外部要因に起因して本製品に故障を生じた場合。

　（8）電池パック、および本体以外の専用付属品の消耗、摩耗、故障、または損傷

　（9）出張修理の場合（出張経費および技術料）。

3. 修理を依頼される場合は、当社へ保証書を添えてお送りください。
4. 本製品が、ご贈答品等で修理を依頼される場合は右記のユーザーサポートセンターにご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

※ 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理を約束するものです。

したがって本書によって､お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので､保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は､ユーザーサポートセンターにお問合せください。

保証書

［保証期間］１年間

［品名・型名］トークマスタースリム

本書は、保証規定に記載された条件に基づいて、１年間の無償修理をお約束するものです。
修理をご依頼される場合、本書の提示が必要となりますので、大切に保管してください。
（本書の再発行は致しません）

上記期間内に初期不良等の故障が発生した場合は、下記まで修理をお申し付けください。

〒 483-8555
愛知県江南市古知野町朝日 250

サン電子株式会社　デジタルライフ部

ユーザーサポートセンター

TEL 0120-863810（ハローサポート）

FAX 0587-55-3308

受付時間 午前 10:00 ～ 12:00　午後 1:00 ～ 4:00
（ただし、土・日・祝日・当社指定休業日を除く）

販売店印（店名･販売日）

当社より直接購入された場合は、納品書に販売証明書が添付されますので本保証書と共に大切に保管し、修理の際は、両方ご提示ください。

本製品の使用中に故障が発生した場合には、販売店またはサン電子株式会社にお問合せください。

交換、修理（有・無償）、払戻しおよび部品保有期間、またその他の補償規定は消費者保護法の補償基準に準じます。

ご案内

本製品に関する質問など、詳細な事項は
サン電子株式会社にお問合せください。
お問合せのときは、次のことをお知らせください。

・商品名/型名
・お買い上げ年月日
・お問合せ内容：できるだけ詳しく

お問合せ先

ご注文、機器の簡単な使用方法について

コールセンター
TEL 0120-501355
（9：00-21：00、年末年始以外、昼・土日も受付）

修理、パソコン含む取扱い方法

ユーザーサポートセンター
TEL 0120-863810
（10:00-12:00/13:00-16:00、土日祝日・当社指定休業日を除く）
FAX 0587-55-3308

ホームページ
http://talkmaster.jp/

サン電子株式会社
ユーザーサポートセンター
〒483-8555
愛知県江南市古知野町朝日250
TEL 0120-863810

TMSMAN2_D